

○松山大学学則

昭和37年4月1日

制定

改正 昭和41年4月1日

昭和43年4月1日

昭和44年4月1日

昭和46年4月1日

昭和47年4月1日

昭和48年4月1日

昭和49年4月1日

昭和49年10月1日

昭和50年4月1日

昭和51年4月1日

昭和52年4月1日

昭和53年4月1日

昭和54年4月1日

昭和55年4月1日

昭和56年4月1日

昭和57年4月1日

昭和58年4月1日

昭和59年4月1日

昭和60年4月1日

昭和61年4月1日

昭和62年4月1日

昭和63年4月1日

平成元年4月1日

平成2年4月1日

平成3年4月1日

平成4年4月1日

平成5年4月1日

平成6年4月1日

平成7年4月1日

平成8年4月1日

平成9年4月1日

平成10年4月1日
平成11年4月1日
平成12年4月1日
平成13年4月1日
平成14年4月1日
平成15年4月1日
平成16年4月1日
平成17年4月1日
平成18年4月1日
平成18年7月13日
平成19年4月1日
平成20年4月1日
平成21年4月1日
平成22年4月1日

2011（平成23）年3月10日
2011（平成23）年3月17日
2012（平成24）年3月23日
2013（平成25）年3月21日
2015（平成27）年3月13日
2016（平成28）年3月30日
2017（平成29）年2月17日
2017（平成29）年12月21日
2019（平成31）年2月7日
2019（令和元）年7月2日
2020（令和2）年4月30日
2020（令和2）年12月10日
2022（令和4）年2月21日
2022（令和4）年5月27日
2023（令和5）年12月20日
2024（令和6）年12月20日

第1章 総則

第1条 本学は、経済、経営、人文、法律、薬学及び情報を中心とする諸科学の総合的専門的研究及び教授を行うことを目的とし、学識深く教養高き人材を養成して広く社会の発展に寄与することを使命とする。

第1条の2 第1条の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

2 自己点検及び評価に関する規程並びにファカルティ・ディベロップメントに関する規程は別に定める。

第2条 本学に経済学部、経営学部、人文学部、法学部、薬学部及び情報学部を置く。

2 経済学部には経済学科を、経営学部には経営学科を、人文学部に英語英米文学科と社会学科を、法学部に法学科を、薬学部には医療薬学科を、及び情報学部には情報学科を、それぞれ置く。

3 各学部又は各学科における教育目的及び教育目標については、別に定める。

第3条 本学に大学院を置く。大学院の学則は、別に定める。

第2章 授業科目及び単位数

第4条 授業科目を分けて、教養教育科目、言語文化科目、健康文化科目、基礎教育科目、専門教育科目、学部科目、自由選択科目、教職科目、教職に関する科目、司書に関する科目及び司書教諭に関する科目とする。

2 各学部における授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目の三種とする。なお、自由選択科目、教職に関する科目、司書に関する科目及び司書教諭に関する科目は、卒業単位には算入しない。

3 各学部における授業科目とその単位数は、別表(1)のとおりとする。

4 教職に関する科目とその単位数は、別表(2)のとおりとする。

5 司書に関する科目とその単位数は、別表(3)のとおりとする。

6 司書教諭に関する科目とその単位数は、別表(4)のとおりとする。

第5条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果及び授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、教室内における1時間の授業に対して教室外における2時間の準備のための学修を必要とするものとし、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(3) 前2号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

第6条 前条に規定する授業は、別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第3章 履修方法、単位の認定、課程修了及び学士号

第7条 各学部の授業科目は、教授会の定める教育課程に従い、各年次に配当する。

2 学生は、所属する学部学科の定める細則及び履修規程に従い、以下の授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

<経済学部経済学科>

(1) 教養教育科目

人文科学，社会科学，自然科学の各関係より各 4 単位，人文科学，社会科学，自然科学のいずれかより 4 単位及び総合関係より 2 単位（「ITスキルズ」は必修） 18単位以上

キャリア教育関係

(2) 言語文化科目

言語文化基礎科目（日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

英語 6 単位，他の 1 言語より 4 単位 10単位以上

外国人留学生は日本語 4 単位，他の 1 言語より 4 単位 8 単位以上

言語文化応用科目（応用日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

言語文化応用科目又は必修科目を除く 2 年次配当言語文化基礎科目より 2 単位，及び言語文化応用科目，言語文化講義科目又は 2 年次配当言語文化基礎科目より 2 単位 4 単位以上

外国人留学生は応用日本語 I 2 単位を必修とし，他に言語文化応用科目又は必修科目を除く 2 年次配当言語文化基礎科目より 2 単位，及び言語文化応用科目，言語文化講義科目又は 2 年次配当言語文化基礎科目より 2 単位 6 単位以上

言語文化講義科目

(3) 健康文化科目

健康生活

スポーツ科学

健康文化演習

体育（教職）

(4) 経済学科目

専門基礎科目群 22単位以上

専門応用科目群

基礎理論系統 6 単位以上

応用理論系統 6 単位以上

政策系統 6 単位以上

歴史系統 6 単位以上

国際系統 6 単位以上

統計系統 6 単位以上

地域専門科目群

地域専門系統 6 単位以上

計 78単位以上

(5) 関連科目 8単位以上

自由選択科目（卒業単位に含まない）

合 計 124単位以上

<経営学部経営学科>

(1) 教養教育科目

人文科学，社会科学，自然科学の各関係より各2単位及び総合関係より2単位（「ITスキルズ」は必修） 18単位以上

キャリア教育関係

(2) 言語文化科目

言語文化基礎科目（日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

英語6単位，他の1言語より4単位 10単位以上

外国人留学生は日本語4単位，他の1言語より4単位 8単位以上

言語文化応用科目（応用日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

言語文化応用科目又は必修科目を除く2年次配当言語文化基礎科目より2単位，及び言語文化応用科目，言語文化講義科目又は2年次配当言語文化基礎科目より2単位 4単位以上

外国人留学生は応用日本語Ⅰ 2単位を必修とし，他に言語文化応用科目又は必修科目を除く2年次配当言語文化基礎科目より2単位，及び言語文化応用科目，言語文化講義科目又は2年次配当言語文化基礎科目より2単位 6単位以上

言語文化講義科目

(3) 健康文化科目

健康生活

スポーツ科学

健康文化演習

体育（教職）

(4) 専門科目

共通必修科目26単位を含む90単位以上

自由選択科目（卒業単位に含まない）

合 計 132単位以上

<人文学部英語英米文学科>

(1) 教養教育科目

人文科学，社会科学，自然科学の各関係より各4単位，人文科学，社会科学，自然科学のいずれかより4単位及び総合関係より2単位（「ITスキルズ」は必修） 18単位以上

キャリア教育関係

(2) 言語文化科目

言語文化基礎科目（日本語は外国人留学生のみ履修可能とする） 1言語8単位以上

言語文化応用科目（応用日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

言語文化講義科目

(3) 健康文化科目

健康生活

スポーツ科学

健康文化演習

体育（教職）

(4) 英語英米文学科専門科目

基礎教育科目 12単位

演習 12単位

学部共通科目

日本語演習 2単位

専門教育科目

必修科目 22単位

主要選択科目 30単位以上

60単位以上

関連科目 8単位以上

合 計 128単位以上

<人文学部社会学科>

(1) 教養教育科目

人文科学，社会科学の各関係より各6単位，自然科学関係より4単位及び総合関係より2単位（「ITスキルズ」は必修） 18単位以上

キャリア教育関係

(2) 言語文化科目

言語文化基礎科目（日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

英語6単位，他の1言語より4単位 10単位以上

外国人留学生は日本語4単位，他の1言語より4単位 8単位以上

言語文化応用科目（応用日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

言語文化応用科目又は必修科目を除く2年次配当言語文化基礎科目より2単位，及び言語文化応用科目，言語文化講義科目又は2年次配当言語文化基礎科目より2単位 4単位以上

外国人留学生は応用日本語Ⅰ 2単位を必修とし、他に言語文化応用科目又は必修科目を除く2年次配当言語文化基礎科目より2単位、及び言語文化応用科目、言語文化講義科目又は2年次配当言語文化基礎科目より2単位 6単位以上

言語文化講義科目

(3) 健康文化科目

健康生活

スポーツ科学

健康文化演習

体育（教職）

(4) 社会学科専門科目

演習科目・卒業論文 18単位

学部共通科目（人間・キャリア科目）

日本語演習 2単位

専門教育科目

社会学科目 52単位

62単位以上

関連科目 8単位以上

自由選択科目（卒業単位に含まない）

合 計 128単位以上

<法学部法学科>

(1) 教養教育科目

人文科学，社会科学，自然科学の各関係より各4単位及び人文科学，社会科学，自然科学のいずれかより4単位 16単位以上

総合関係

キャリア教育関係

(2) 言語文化科目

言語文化基礎科目（日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

英語6単位，他の1言語より4単位 10単位以上

外国人留学生は日本語4単位，他の1言語より4単位 8単位以上

言語文化応用科目（応用日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

言語文化応用科目又は必修科目を除く2年次配当言語文化基礎科目より2単位，及び言語文化応用科目，言語文化講義科目又は2年次配当言語文化基礎科目より2単位 4単位以上

外国人留学生は応用日本語Ⅰ 2単位を必修とし、他に言語文化応用科目又は必修科目を除く2年次配当言語文化基礎科目より2単位、及び言語文化応用科目、言語文化講義科目又は2年次配当言語文化基礎科目より2単位 6単位以上

言語文化講義科目

(3) 健康文化科目

健康生活

スポーツ科学

健康文化演習

体育（教職）

(4) 学部科目

演習 専門演習Ⅰ，Ⅱを含め 6単位以上

卒業論文

コース科目

コース共通必修12単位含め 36単位以上

学部科目

法政科目 64単位以上

関連科目

自由選択科目（卒業単位に含まない）

合 計 132単位以上

<薬学部医療薬学科>

(1) 教養教育科目

人文科学関係より2単位以上、社会科学関係より4単位以上及び総合関係より「ITスキルズ」を含み2単位以上 8単位以上

自然科学関係

キャリア教育関係

(2) 言語文化科目

言語文化基礎科目（日本語は外国人留学生のみ履修可能とする） 英語4単位

言語文化応用科目（応用日本語は外国人留学生のみ履修可能とする）

言語文化基礎科目のうち初習言語、言語文化応用科目又は言語文化講義科目より2単位以上

言語文化講義科目

(3) 健康文化科目

健康生活

スポーツ科学

健康文化演習

(4) 専門教育科目

導入科目 必修6単位

領域別科目 必修101単位

選択必修4単位以上

技能科目 必修14単位

総合科目 必修42単位

領域別科目（選択必修科目は含まない）及び総合科目 選択5単位以上

計 172単位以上

合 計 186単位以上

<情報学部情報学科>

(1) リベラルアーツ科目群

教養教育科目より人文科学分野，社会科学分野及び自然科学分野より各2単位以上，言語文化科目より4単位以上を含む 24単位以上

(2) 一般教育科目群

(3) 専門科目群

演習科目 10単位

共通専門科目，情報システム専門科目，

メディアデザイン専門科目 40単位以上

(4) 社会実践科目群 10単位以上

(5) 周辺科目群

(6) (2)から(5)までの各科目群の合計 92単位以上

合 計 124単位以上

第8条 所属する学部学科とは異なる学部学科が開講する授業科目の履修を希望する学生は，当該科目を開講する学部の学部長及び当該科目の担当教員の承認を得なければならない。

2 前項の規定により履修することができる科目は，合計で12単位を上限とする。

第9条 本学において所定の単位を修得した者は，教育職員免許状，司書の資格又は司書教諭の資格を取得することができる。各学部学科において取得できる免許状又は資格の種類は次のとおりである。

設置学部・学科	免許状又は資格の種類	免許教科
経済学部 経済学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史
		公民
	図書館司書	

	学校図書館司書教諭	
経営学部 経営学科	高等学校教諭一種免許状	商業
	図書館司書	情報
	学校図書館司書教諭	
人文学部 英語英米文学科	中学校教諭一種免許状	英語
	高等学校教諭一種免許状	
	図書館司書	
	学校図書館司書教諭	
人文学部 社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史
		公民
	図書館司書	
	学校図書館司書教諭	
法学部 法学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史
		公民
	図書館司書	
	学校図書館司書教諭	
情報学部 情報学科	高等学校教諭一種免許状	情報
	図書館司書	
	学校図書館司書教諭	

2 教育職員免許状，司書の資格及び司書教諭の資格の取得に関する履修規程は，別に定める。

第10条 各授業科目の単位の認定は，当該科目の担当教員がこれを行う。

2 単位の認定は，単位認定規程による。

第10条の2 本学は，教育上有益と認めるときは，別に定めるところにより，学生を他の大学又は短期大学に派遣の上，授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により学生が派遣先で修得した単位は，60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

第10条の3 本学は，教育上有益と認めるときは，学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を，本学における授業科目の履修とみなし，別に定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項の規定により与えることのできる単位数は，前条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を上限とする。

第10条の4 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、合計で60単位を上限とする。

第10条の5 本学は、学生が本学に入学する前に本学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後に修得したものとみなすことができる。

第10条の6 学生が外国の大学又は短期大学に留学しようとするときは、所属する学部の教授会の議を経て、学長の許可を得なければならない。

2 前項の規定により留学した期間は、第26条に規定する修業年限及び在学期間に算入するものとする。

3 第10条の2第2項の規定は、本条第1項の規定により留学した場合に準用する。

第10条の7 本学は、卒業の要件として修得すべき所定の単位数のうち、第6条に規定する授業の方法で履修し修得した単位は、60単位を超えない範囲で認定する。

第11条 経済学部、経営学部、人文学部、法学部及び情報学部においては4年以上、薬学部においては6年以上在学し、第7条第2項に規定する単位数を修得した者には、卒業を認める。

第12条 本学を卒業した者に対し、次のとおり学士の学位を授与する。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
人文学部	英語英米文学科	学士（英語英米文学）
	社会学科	学士（社会学）
法学部	法学科	学士（法学）
薬学部	医療薬学科	学士（薬学）
情報学部	情報学科	学士（情報学）

2 学位及びその授与等に関する事項については、松山大学学位規則の定めるところによるものとする。

第4章 入学、転部、転科、休学、退学、転学及び除籍

第13条 入学時期は毎年4月とする。

第14条 入学者の資格は次のとおりである。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第15条 入学の許否は、試験その他の方法によって決定する。

第16条 学校教育法による大学の学士号を有する者、又は本学を中途退学し再入学した者については、第26条第1項に規定する修業年限を経済学部、経営学部、人文学部、法学部及び情報学部においては3年以内、薬学部においては5年以内に短縮することができる。

第17条 収容定員を満たさない学部又は学科においては、他の大学の学生であった者、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者につき選考の上、編入学を許可することがある。

2 編入学の時期は4月又は9月とする

3 編入学生については、第10条の4第1項及び第2項並びに第10条の5の規定を準用するほか、本学に編入学する前の在学期間の全部又は一部を本学における在学期間として認定したうえで、その修業年限並びに編入学後に履修しなければならない授業科目及び単位数を定める。

第18条 本学への入学（再入学および編入学を含む。以下同じ）を志願する者は、所定の期日までに所定の書類を提出し、「松山大学納付金規程」の定めるところにより、入学検定料を納入しなければならない。

第19条 入学試験に合格した者は、所定の期日までに所定の書類を提出し、「松山大学納付金規程」の定めるところにより、所定の納付金を納入しなければならない。

第19条の2 入学試験に合格した者は、所定の方式に従って宣誓をし、かつ本学の承認する保証人を立てなければならない。

2 保証人は、父母又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責務を果たし得るものでなければならない。

3 保証人が死亡し、又はその他の事由でその責務を果し得ない場合には、新たな保証人を届け出な

ければならない。

第19条の3 前2条の手續を怠った者は、入学を許可しない。

第20条 収容定員を満たさない学部又は学科においては、選考の上、本学学生の転部又は転科を許可することがある。

第21条 病気その他やむを得ない事由によって3か月以上就学できない者は、前学期、後学期又は1年の休学を願い出ることができる。

2 特別の事情があるときは、前項の規定による休学期間の満了後、引き続き前学期、後学期又は1年の休学を願い出ることができる。

3 休学期間は、経済学部、経営学部、人文学部、法学部及び情報学部においては通算して2年、薬学部においては通算して3年を超えることができない。

4 休学期間は、第26条第1項に規定する修業年限及び同条第2項に規定する在学年限に算入しない。

第22条 休学の事由が消滅したことにより復学を希望する者については、願い出により復学を許可する。

2 復学の時期は、学期の始めとする。

第23条 やむを得ない事由があると認められる者については、願い出により退学を許可する。

第24条 他の大学に転学しようとする者については、願い出により転学を許可する。

第25条 他の大学からの転学は、特別の場合を除きこれを許可しない。

2 前項の規定により転学を許可された者については、第10条の4第1項及び第2項並びに第10条の5の規定を準用する。

第26条 修業年限は、経済学部、経営学部、人文学部、法学部及び情報学部においては4年、薬学部においては6年とする。

2 在学年限は、経済学部、経営学部、人文学部、法学部及び情報学部においては6年、薬学部においては9年を超えることができない。

3 停学期間は、修業年限に算入しない。ただし1か月未満の停学の場合に限り、この期間を、修業年限に算入するものとする。

4 停学期間は、在学年限に算入する。

第27条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- (1) 所定の納付金の納入を怠り、その督促をうけてもなおこれを納入しない者
- (2) 第21条第3項に定める休学期間を超えた者
- (3) 第26条第2項に定める在学年限を超えた者
- (4) 長期間に亘り行方不明の者

第5章 授業料その他の納付金

第28条 学生は、「松山大学納付金規程」の定めるところにより、所定の授業料及び教育充実費（以

下、併せて「学費」という。)を納入しなければならない。

2 一旦収受した学費は、「松山大学納付金規程」に別段の定めがある場合を除き、一切返還しない。

第29条 休学を許可された者は、「松山大学納付金規程」に定める在籍料を納入しなければならない。

2 休学を許可された者の学費については、「松山大学納付金規程」の定めるところによるものとする。

第30条 退学者の学費については、「松山大学納付金規程」の定めるところによるものとする。

第31条 証明手数料その他の手数料については、「松山大学納付金規程」の定めるところによるものとする。

第32条 教育職員免許状、司書資格及び司書教諭資格の取得に要する特別負担金については、別に定める。

第33条 学費の支弁が困難な者については、別に定めるところに従い、延納を許可することがある。

第6章 賞罰

第34条 特に他の模範となる行為があつた者は、これを表彰することがある。

第35条 本学の規則に違反し、その他学生としての本分に反した行為をした者は、別に定める規程により懲戒する。

第7章 職員組織

第36条 本学に次の職員を置く。

学 長	学 医
副学長	保健師
学部長	事務職員
教 授	
准教授	
講 師	
助 教	
助 手	

2 大学として必要な場合には、その他の職員を置く。

第8章 教授会

第37条 本学に、各学部教授会を置く。

第38条 本学に、全学教授会及び教学会議を置く。

第39条 全学教授会、教学会議及び各学部教授会に関する規程は、別に定める。

第9章 入学定員及び収容定員

第40条 本学の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

経済学部経済学科	入学定員	400人	収容定員	1,600人
経営学部経営学科	入学定員	340人	収容定員	1,360人
人文学部英語英米文学科	入学定員	110人	収容定員	440人
人文学部社会学科	入学定員	125人	収容定員	500人
法学部法学科	入学定員	215人	収容定員	860人
薬学部医療薬学科	入学定員	100人	収容定員	600人
情報学部情報学科	入学定員	120人	収容定員	480人

第10章 研究所，図書館等

第41条 本学に総合研究所を置く。

第42条 本学に図書館を置く。

第42条の2 本学に薬用植物園を置く。

第42条の3 本学にキャリアセンター，情報センター，国際センターを置く。

2 本学に学生支援室を置く。

第11章 研究生，委託生，科目等履修生，外国人留学生及び外国人聴講生

第43条 本学学生以外の者であつて，学部において特定の事項について研究することを希望するものについては，当該学部の教育研究に支障のない場合に限り，選考の上，研究生として入学を許可することがある。

第44条 特定の機関又は団体等から学部における研修事項又は研修科目を定めて，その所属職員を本学に委託する願い出があつたときは，当該学部の教育研究に支障のない場合に限り，選考の上，委託生として入学を許可することがある。

第45条 本学学生以外の者であつて，本学の授業科目の受講を希望するものについては，当該科目を開講する学部の教育研究に支障のない場合に限り，選考の上，当該科目の履修を許可することがある。

2 前項の規定により本学の授業科目の履修を許可された者（以下「科目等履修生」という。）に対しては，第10条の規定に従い単位の認定を行う。

第46条 研究生，委託生及び科目等履修生の取扱いについては，それぞれ，研究生規程，委託生規程及び科目等履修生規程によるほか，その性質に反しない限り，本学則の規定を準用する。

第47条 外国人留学生及び外国人聴講生について必要な事項は，別に定める。

第48条 削除

第12章 単位互換

第49条 本学は，第10条の2の規定に基づき，他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下「協定大学」という。）との相互の交流と協力を促進し，教育内容の充実を図ることを目的として，単位互換協定を結ぶことができる。

2 本学学生で協定大学において授業科目を履修することが認められたものを，派遣聴講生（国内の

場合)又は派遣留学生(外国の場合)と呼ぶ。

3 協定大学の学生で本学において授業科目を履修することが認められた者を、特別聴講生(国内の場合)又は特別留学生(外国の場合)と呼ぶ。

4 前2項に定める聴講生及び留学生に関する取扱いについては、別に定める。

第13章 学年、学期及び休業日

第50条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第51条 学年を次の2期に分ける。

前学期 4月1日から9月20日まで

後学期 9月21日から翌年3月31日まで

第52条 休業日は次のとおりとする。

日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

本学開学記念日 5月29日

春季休業 3月21日から3月31日まで

夏季休業 8月1日から9月20日まで

冬季休業 12月25日から1月7日まで

2 必要がある場合には、前項に定める休業日を変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第14章 寄宿舍、保健施設

第53条 本学に寄宿舍をおく。

第54条 本学に保健室をおく。

第15章 雑則

第55条 本学則の改廃は、関連する事項により、各学部教授会、教学会議又は全学教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

本学則施行に必要な細則は、別に定める。

本学則は、昭和37年4月1日から施行する。

附 則(昭和41年4月1日)

本学則は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則(昭和43年4月1日)

本学則は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則(昭和44年4月1日)

本学則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則(昭和46年4月1日)

本学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則(昭和47年4月1日)

本学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（昭和48年4月1日）

本学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則（昭和49年4月1日）

本学則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則（昭和49年10月1日）

本学則は、昭和49年10月1日から施行する。

附 則（昭和50年4月1日）

本学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則（昭和51年4月1日）

本学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和52年4月1日）

本学則は、昭和52年4月1日から施行する。

学則第7条については、昭和52年4月経済学部、経営学部入学の学生から適用する。

なお学則第12条については昭和53年3月卒業生より適用する。

附 則（昭和53年4月1日）

本学則は、昭和53年4月1日から施行する。

学則第7条については、昭和53年4月人文学部入学の学生から適用する。

附 則（昭和54年4月1日）

本学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和55年4月1日）

本学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和56年4月1日）

本学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年4月1日）

本学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日）

本学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年4月1日）

本学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年4月1日）

本学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年4月1日）

本学則は、昭和61年4月1日から施行する。

入学定員は、第40条の規定にかかわらず、昭和61年度から平成4年度までの間は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 400人

経営学部経営学科 入学定員 400人

人文学部英語英米文学科 入学定員 100人

人文学部社会学科 入学定員 120人

附 則（昭和62年4月1日）

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年4月1日）

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成元年4月1日）

本学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成2年4月1日）

本学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成3年4月1日）

本学則は、平成3年4月1日から施行する。

法学部法学科の入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間は次の通りとする。

法学部法学科 入学定員 250人

学則第9条については、平成2年4月入学生より適用する。

学則第12条については、平成3年9月卒業生より適用する。

附 則（平成4年4月1日）

本学則は、平成4年4月1日から施行する。

(1) 入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成4年度は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 450人

経営学部経営学科 入学定員 450人

人文学部英語英米文学科 入学定員 120人

人文学部社会学科 入学定員 140人

(2) 入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成5年度から平成11年度までの間は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 400人

経営学部経営学科 入学定員 400人

人文学部英語英米文学科 入学定員 100人

人文学部社会学科 入学定員 120人

附 則（平成5年4月1日）

本学則は、平成5年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の一般教育科目については平成5年度在学生にも適用する。

学則第5条(3)については、平成2年4月入学生より適用する。

入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成5年度から平成11年度までの間は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 450人

経営学部経営学科 入学定員 450人

附 則（平成6年4月1日）

本学則は、平成6年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の共通教育科目・一般教育科目の認知科学入門については、平成6年度在学生にも適用する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科については、平成5年4月入学生より適用する。ただし、学部科目の英作文については、平成6年4月入学生より適用する。

学則第4条第4項は、平成5年4月入学生より適用する。

附 則（平成7年4月1日）

本学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年4月1日）

本学則は、平成8年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の人文学部社会学科における共通教育科目・一般教育科目の社会学については、平成8年度在学生にも適用する。

附 則（平成9年4月1日）

本学則は、平成9年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の健康文化科目及び第10条の2、第10条の3、第10条の4、第10条の5、第10条の6、第49条については、平成9年度在学生にも適用する。

附 則（平成10年4月1日）

本学則は、平成10年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の言語文化科目及び第4条第5項、第4条第6項については平成10年度在学生にも適用する。

学則第29条、第30条、第31条、第32条、第32条の2については、平成10年度在学生から適用する。

附 則（平成11年4月1日）

本学則は、平成11年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科における学部科目のオセアニア研究については平成5年4月以降の入学生で平成11年度以降に履修する学生にも適用する。

学則第4条第6項については、平成10年度以前の入学生で、平成11年度より新たに司書教諭課程を履修する学生にも適用する。

附 則（平成12年4月1日）

本学則は、平成12年4月1日から施行する。

学則第10条の2については、平成12年度在学生にも適用する。

- (1) 入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成12年度は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 438人

経営学部経営学科 入学定員 438人

人文学部英語英米文学科 入学定員 100人

人文学部社会学科 入学定員 120人

法学部法学科 入学定員 245人

- (2) 入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成13年度は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 426人

経営学部経営学科 入学定員 426人

人文学部英語英米文学科 入学定員 100人

人文学部社会学科 入学定員 120人

法学部法学科 入学定員 240人

- (3) 入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成14年度は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 414人

経営学部経営学科 入学定員 414人

人文学部英語英米文学科 入学定員 100人

人文学部社会学科 入学定員 120人

法学部法学科 入学定員 235人

- (4) 入学定員は、第40条の規定にかかわらず、平成15年度は次の通りとする。

経済学部経済学科 入学定員 402人

経営学部経営学科 入学定員 402人

人文学部英語英米文学科 入学定員 100人

人文学部社会学科 入学定員 120人

法学部法学科 入学定員 230人

附 則（平成13年4月1日）

本学則は、平成13年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科における学部科目の情報社会論，マルチメディア演習，情報と職業については、平成12年4月入学生より適用する。

学則第4条第3項の人文学部英語英米文学科における関連科目の社会学特殊講義については、平成12年4月入学生より適用する。

学則第4条第3項の人文学部社会学科における関連科目の英語学概論Ⅰ，英語学概論Ⅱ，英米文学

概論Ⅰ，英米文学概論Ⅱ，Advanced Reading，比較文学Ⅰ，比較文学Ⅱ，英米文化特殊講義，理論経済学特殊講義については，平成12年4月入学生より適用する。

附 則（平成14年4月1日）

本学則は，平成14年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科における学部科目の検定簿記会計Ⅰ～Ⅶ，検定税法Ⅰ～Ⅶ，経営学部特別講義については，平成12年4月入学生より適用する。

学則第4条第3項の法学部法学科における関連科目の経営コース特殊講義については，平成12年4月入学生より適用する。

附 則（平成15年4月1日）

本学則は，平成15年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科における学部科目の国際コミュニケーション・スキルズ，国際ビジネスコミュニケーションについては，平成12年4月入学生より適用する。法学部法学科の収容人数は，第40条の規定の通りとする。

附 則（平成16年4月1日）

本学則は，平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成17年4月1日）

本学則は，平成17年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の言語文化科目における言語文化上級科目の外国語検定Ⅰ，外国語検定Ⅱについては，平成14年4月入学生より適用する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科における学部科目の検定経営学Ⅰ～Ⅶ，情報資格Ⅰ・Ⅱ，流通資格Ⅰ・Ⅱについては，平成12年4月入学生より適用する。

学則第4条第3項の人文学部英語英米文学科及び同社会学科における科目の社会学，社会福祉原論，老人福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，公的扶助論，社会福祉援助技術論，医学一般，介護概論，社会福祉援助技術演習，社会福祉援助技術現場実習，社会福祉援助技術現場実習指導については，平成17年度在学生にも適用する。

附 則（平成18年4月1日）

本学則は，平成18年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科における学部科目の検定簿記会計Ⅷ～Ⅹ，検定税法Ⅷについては，平成12年4月入学生より適用する。

学則第7条第2項の人文学部英語英米文学科における関連科目の修得すべき単位数については，平成17年4月入学生より適用する。

学則第7条第2項の人文学部社会学科における関連科目の修得すべき単位数については，平成17年4月入学生より適用する。

附 則（2006（平成18）年7月13日）

本学則は、2006（平成18）年7月13日から施行する。

附 則（2007（平成19）年4月1日）

本学則は、2007（平成19）年4月1日から施行する。

附 則（2008（平成20）年4月1日）

本学則は、2008（平成20）年4月1日から施行する。

附 則（2009（平成21）年4月1日）

本学則は、2009（平成21）年4月1日から施行する。

附 則（2010（平成22）年4月1日）

本学則は、2010（平成22）年4月1日から施行する。

附 則（2011（平成23）年3月10日）

本学則は、2011（平成23）年4月1日から施行する。

附 則（2011（平成23）年3月17日）

本学則は、2012（平成24）年4月1日から施行する。

(1) 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2012（平成24）年度は次の通りとする。

薬学部医療薬学科 入学定員 100人 収容定員 900人

(2) 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2013（平成25）年度は次の通りとする。

薬学部医療薬学科 入学定員 100人 収容定員 840人

(3) 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2014（平成26）年度は次の通りとする。

薬学部医療薬学科 入学定員 100人 収容定員 780人

(4) 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2015（平成27）年度は次の通りとする。

薬学部医療薬学科 入学定員 100人 収容定員 720人

(5) 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2016（平成28）年度は次の通りとする。

薬学部医療薬学科 入学定員 100人 収容定員 660人

附 則（2012（平成24）年3月23日）

本学則は、2012（平成24）年4月1日から施行する。

学則第4条第5項については、2012（平成24）年4月以降の編入学生にも適用する。

附 則（2013（平成25）年3月21日）

本学則は、2013（平成25）年4月1日から施行する。

附 則（2015（平成27）年3月13日）

本学則は、2015（平成27）年4月1日から施行し、2015（平成27）年度在学生にも適用する。

附 則（2016（平成28）年3月30日）

本学則は、2016（平成28）年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の人文学部社会学科における社会学科科目の精神保健学、関連科目のスクールソーシャルワーク演習、スクールソーシャルワーク実習指導、スクールソーシャルワーク実習について

は、2016（平成28）年4月在学生にも適用する。

附 則（2017（平成29）年2月17日）

本学則は、2017（平成29）年4月1日から施行する。

学則第4条第3項の経営学部経営学科における経営学部科目の情報資格Ⅲ～Ⅴについては、2017（平成29）年4月在学生にも適用する。

附 則（2017（平成29）年12月21日）

本学則は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

附 則（2019（平成31）年2月7日）

本学則は、2019（平成31）年4月1日から施行する。

附 則（2019（令和元）年7月2日）

1 本学則は、2020（令和2）年4月1日から施行する。

2 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2020（令和2）年度は次のとおりとする。

経済学部経済学科 入学定員 400人 収容定員 1,570人

経営学部経営学科 入学定員 400人 収容定員 1,570人

人文学部英語英米文学科 入学定員 110人 収容定員 410人

人文学部社会学科 入学定員 125人 収容定員 485人

法学部法学科 入学定員 215人 収容定員 845人

3 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2021（令和3）年度は次のとおりとする。

経済学部経済学科 入学定員 400人 収容定員 1,580人

経営学部経営学科 入学定員 400人 収容定員 1,580人

人文学部英語英米文学科 入学定員 110人 収容定員 420人

人文学部社会学科 入学定員 125人 収容定員 490人

法学部法学科 入学定員 215人 収容定員 850人

4 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2022（令和4）年度は次のとおりとする。

経済学部経済学科 入学定員 400人 収容定員 1,590人

経営学部経営学科 入学定員 400人 収容定員 1,590人

人文学部英語英米文学科 入学定員 110人 収容定員 430人

人文学部社会学科 入学定員 125人 収容定員 495人

法学部法学科 入学定員 215人 収容定員 855人

附 則（2020（令和2）年4月30日）

本学則は、2020（令和2）年4月1日から施行する。

附 則（2020（令和2）年12月10日）

本学則は、2021（令和3）年4月1日から施行する。

附 則（2022（令和4）年2月21日）

本学則は、2022（令和4）年4月1日から施行する。

ただし、2021（令和3）年度以前に入学した学生が経済学部経済学科において修得すべき専門応用科目群及び地域専門科目群の単位数（学則第7条第2項）については、なお従前の例による。

附 則（2022（令和4）年5月27日）

本学則は、2022（令和4）年5月27日から施行し、2022（令和4）年4月1日から適用する。

ただし、2021（令和3）年度以前に入学した学生に関する別表(2)については、なお従前の例による。

附 則（2023（令和5）年12月20日）

本学則は、2024（令和6）年4月1日から施行する。

附 則（2024（令和6）年12月20日）

1 本学則は、2025（令和7）年4月1日から施行する。

ただし、2024（令和6）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

2 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2025（令和7）年度は次のとおりとする。

経営学部経営学科 入学定員 340人 収容定員 1,540人

情報学部情報学科 入学定員 120人 収容定員 120人

3 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2026（令和8）年度は次のとおりとする。

経営学部経営学科 入学定員 340人 収容定員 1,480人

情報学部情報学科 入学定員 120人 収容定員 240人

4 収容定員は、第40条の規定にかかわらず、2027（令和9）年度は次のとおりとする。

経営学部経営学科 入学定員 340人 収容定員 1,420人

情報学部情報学科 入学定員 120人 収容定員 360人

別表(1) 学則第4条第3項 別表

(経済学部 経済学科)

教養教育科目

種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数
人 文 科 学 関 係	哲学Ⅰ	2	社 会 科 学 関 係	経営学の基礎Ⅰ	2	自 然 科 学 関 係	統計学Ⅰ	2	総 合 関 係	◎ITスキルズ	2	キ ャ リ ア 教 育 関 係	教養教育特殊講義 (キャリア教育)	
	哲学Ⅱ	2		経営学の基礎Ⅱ	2		統計学Ⅱ	2		教養教育特殊講義 (総合教養)			インターンシップ 活用Ⅰ	2
	論理学Ⅰ	2		社会学の基礎Ⅰ	2		情報科学Ⅰ	2					インターンシップ 活用Ⅱ	2
	論理学Ⅱ	2		社会学の基礎Ⅱ	2		情報科学Ⅱ	2					インターンシップ 研修A	2
	歴史学Ⅰ	2		法学の基礎	2		情報セキュリティ	2					インターンシップ 研修B	1
	歴史学Ⅱ	2		日本国憲法	2		プログラミングの基礎	2						
	倫理学Ⅰ	2		政治学の基礎Ⅰ	2		メディア・リテラシー	2						
	倫理学Ⅱ	2		政治学の基礎Ⅱ	2		科学史	2						
	現代地理学Ⅰ	2		国際関係論Ⅰ	2		数学Ⅰ	2						
	現代地理学Ⅱ	2		国際関係論Ⅱ	2		数学Ⅱ	2						
	文学(国文学)	2		宗教と世界Ⅰ	2		環境学Ⅰ	2						
	心理学	2		宗教と世界Ⅱ	2		環境学Ⅱ	2						
	芸術(音楽)	2		地域と福祉	2		生物学	2						
	芸術(美術)	2		大学における学び の視点-法学部-	2		物理学	2						
	比較文化論Ⅰ	2		教養教育特殊講義 (社会科学)			化学	2						
	比較文化論Ⅱ	2					地学	2						
	文章表現Ⅰ	2					薬と健康	2						
	文章表現Ⅱ	2					教養教育特殊講義 (自然科学)							
	宗教学Ⅰ	2												
	宗教学Ⅱ	2												
	教養教育特殊講義 (人文科学)													

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

言語文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
言語	◎総合英語ⅠA	1	韓国語2	2
文化	◎総合英語ⅠB	1	韓国語3	2
基礎	◎総合英語ⅡA	1	韓国語4	2
科目	◎総合英語ⅡB	1	スペイン語1	2
	◎英語演習Ⅰ	1	スペイン語2	2
	◎英語演習Ⅱ	1	日本語1	1
	ドイツ語1	2	日本語2	1
	ドイツ語2	2	日本語3	1
	ドイツ語3	2	日本語4	1
	ドイツ語4	2		
	フランス語1	2		
	フランス語2	2		
	フランス語3	2		
	フランス語4	2		
	中国語1	2		
	中国語2	2		
	中国語3	2		
	中国語4	2		
	韓国語1	2		
言語	英語プレゼンテーションⅠ	2	実用韓国語講座Ⅱ	2
文化	英語プレゼンテーションⅡ	2	韓国語コミュニケーションⅠ	2
応用	英語コミュニケーションⅠ	2	韓国語コミュニケーションⅡ	2
科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語ライティングⅠ	2
	英語ライティングⅠ	2	韓国語ライティングⅡ	2
	英語ライティングⅡ	2	韓国語リーディングⅠ	2
	英語リーディングⅠ	2	韓国語リーディングⅡ	2
	英語リーディングⅡ	2	韓国語ステップアップ	2
	TOEIC対策Ⅰ	2	実用スペイン語講座Ⅰ	2
	TOEIC対策Ⅱ	2	実用スペイン語講座Ⅱ	2
	英語スピーキング演習Ⅰ	1	スペイン語コミュニケーションⅠ	2
	英語スピーキング演習Ⅱ	1	スペイン語コミュニケーションⅡ	2

	英語リスニング演習Ⅰ	1	スペイン語ステップアップ	2
	英語リスニング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅰ	2
	英語リーディング演習Ⅰ	1	応用日本語Ⅱ	2
	英語リーディング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅲ	2
	英語テーマ別講座	2	応用日本語Ⅳ	2
	実用ドイツ語講座Ⅰ	2	外国語検定Ⅰ	2～4
	実用ドイツ語講座Ⅱ	2	外国語検定Ⅱ	2～4
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2	事前研修A	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2	事前研修B	
	ドイツ語ライティング	2	海外語学研修A	
	ドイツ語リーディング	2	海外語学研修B	
	ドイツ語ステップアップ	2	語学助成研修	
	実用フランス語講座Ⅰ	2	言語文化特殊講座	
	実用フランス語講座Ⅱ	2		
	フランス語コミュニケーションⅠ	2		
	フランス語コミュニケーションⅡ	2		
	フランス語ライティング	2		
	フランス語リーディング	2		
	フランス語ステップアップ	2		
	実用中国語講座Ⅰ	2		
	実用中国語講座Ⅱ	2		
	中国語コミュニケーションⅠ	2		
	中国語コミュニケーションⅡ	2		
	中国語ライティングⅠ	2		
	中国語ライティングⅡ	2		
	中国語リーディングⅠ	2		
	中国語リーディングⅡ	2		
	中国語ステップアップ	2		
	実用韓国語講座Ⅰ	2		
言語	英語学Ⅰ	2	ドイツ語圏文化研究	2
文化	英語学Ⅱ	2	フランス語圏文化研究	2
講義	英語圏文学Ⅰ	2	中国語圏文化研究	2
科目	英語圏文学Ⅱ	2	韓国語圏文化研究	2

	応用言語学Ⅰ	2	言語文化特殊講義	
	応用言語学Ⅱ	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

健康文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康生活	ラケットスポーツⅠ	2	レクリエーション	2
	ラケットスポーツⅡ	2	武道	2
	ボールゲームスポーツⅠ	2	リハビリテーション	2
	ボールゲームスポーツⅡ	2	カヌー	2
	フィットネス	2	ゴルフ	2
	スポーツトレーニング	2	スキー	2
スポーツ科学	身体運動学	2	スポーツ医学	2
健康文化演習	健康文化演習Ⅰ	4	健康文化演習Ⅲ	2
	健康文化演習Ⅱ	4		
体育（教職）	体育（教職）	2		

経済学科目

専門基礎科目群

授業科目	単位数
◎一般基礎演習	2
◎社会経済学入門	2
◎マクロ経済学入門	2
◎ミクロ経済学入門	2
文献講読	2
◎経済基礎演習	2
◎経済専門演習Ⅰ	2
◎経済専門演習Ⅱ	4
◎経済専門演習Ⅲ	2
◎卒業論文	4

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

専門応用科目群

分野	授業科目	単位数	分野	授業科目	単位数
基礎	経済数学	2	歴史	経済史入門	2
理論	社会経済学Ⅰ	2	系統	経済学史	2
系統	社会経済学Ⅱ	2		西洋経済史Ⅰ	2

応用 理論 系統	マクロ経済学Ⅰ	2	国際 系統	日本経済史Ⅰ	2
	マクロ経済学Ⅱ	2		歴史系統特殊講義A	
	ミクロ経済学Ⅰ	2		アジア経済史	2
	ミクロ経済学Ⅱ	2		近代ヨーロッパ経済史	2
	基礎理論系統特殊講義A			社会思想史Ⅰ	2
	産業連関論	2		社会思想史Ⅱ	2
	社会経済学Ⅲ	2		西洋経済史Ⅱ	2
	情報の経済学	2		日本経済史Ⅱ	2
	マクロ経済学Ⅲ	2		比較経済史	2
	ミクロ経済学Ⅲ	2		歴史系統特殊講義B	
	基礎理論系統特殊講義B				
				国際経済学Ⅰ	2
	金融論Ⅰ	2		国際経済学Ⅱ	2
	日本経済論Ⅰ	2		上海研修	4
	日本経済論Ⅱ	2		国際系統特殊講義A	
	応用理論系統特殊講義A			アジア経済論	2
	環境経済学	2		アメリカ経済論	2
	金融システム論Ⅰ	2		EU経済論	2
	金融システム論Ⅱ	2		開発経済学	2
	金融論Ⅱ	2		国際金融論	2
	経済成長論	2		国際貿易論	2
政策 系統	経済と倫理	2	統計 系統	中国経済論	2
	公共経済学	2		比較経済システム論	2
	サービス経済論	2		国際系統特殊講義B	
	産業組織論	2			
	組織の経済学	2		統計学入門Ⅰ	2
	労働経済学	2		統計学入門Ⅱ	2
	応用理論系統特殊講義B			統計リテラシー	2
				経済統計論Ⅰ	2
	生活と経済	2		データ分析入門	2
	経済政策基礎論	2		マクロデータ分析	2
	社会政策論	2		ミクロデータ分析	2
	地方財政論Ⅰ	2		統計系統特殊講義A	
	地方財政論Ⅱ	2		アンケートデータ分析	2

	政策系統特殊講義A		経済統計論Ⅱ	2
	医療経済学	2	計量経済学Ⅰ	2
	環境・エネルギー政策論	2	計量経済学Ⅱ	2
	財政学Ⅰ	2	統計系統特殊講義B	
	財政学Ⅱ	2		
	社会保障論Ⅰ	2		
	社会保障論Ⅱ	2		
	農業経済論	2		
	政策系統特殊講義B			

地域専門科目群

分野	授業科目	単位数
地域	地域史	2
経済	松山市の経済と課題	2
系統	愛媛県の経済と課題	2
	まちづくり学Ⅰ	2
	地域経済系統特殊講義A	
	愛媛経済論Ⅰ	2
	愛媛経済論Ⅱ	2
	観光経済論	2
	地域経済学Ⅰ	2
	地域経済学Ⅱ	2
	まちづくり学Ⅱ	2
	地域経済系統特殊講義B	

関連科目

分野	授業科目	単位数	分野	授業科目	単位数
法律	法律学入門	4		人的資源管理論	4
分野	政治学入門	4		経営情報システム論	4
	憲法Ⅰ（人権）	4		経営科学	4
	憲法Ⅱ（統治）	4		原価計算論	4
	行政法Ⅰ（作用法）	4		商業論	2
	行政法Ⅱ（救済法）	4		マーケティング論	4
	地方自治法	4		広告論	4
	環境法	2		保険論	4
	民法Ⅰ（総則）	4		流通史	2

	民法Ⅱ（物権）	4		銀行論	4
	民法Ⅲ（債権総論）	4		貿易総論	2
	民法Ⅳ（契約）	4		国際商務論	2
	民法Ⅴ（法定債権）	2		グローバル・マーケティング論	2
	民法Ⅵ（親族）	4		ブランド・マネジメント論	2
	民法Ⅶ（相続）	2		経営コース特殊講義	
	商法（総則・商行為）	2		情報コース特殊講義	
	会社法概論	2		会計コース特殊講義	
	会社法	4		流通コース特殊講義	
	手形・小切手法	4			
	刑法Ⅰ（総論）	4	社会・	社会調査方法論	4
	刑法Ⅱ（各論）	4	人文	社会統計学	4
	労働法Ⅰ	4	分野	地域社会学	4
	労働法Ⅱ	4		メディア論	4
	国際法	4		社会学原論	4
	政治学	4		計量社会学	4
	政治思想史	4		都市社会学	4
	行政学	4		環境社会学	4
	政治外交史Ⅰ	4		国際社会学Ⅰ	2
	政治外交史Ⅱ	4		国際社会学Ⅱ	2
	国際政治	4		文化人類学	4
	法制史	4		ジェンダー論	4
	松山大学の歩み	2		社会学史	4
	法政特別講義			社会調査特殊講義	
	リレー講座			社会情報特殊講義	
				地域・国際・環境特殊講義	
経営	簿記原理	4		メディア・現代社会特殊講義	
分野	経営史	4			
	企業論	4			
	経営管理論	4			
	経営財務論	4			

[自由選択科目]

授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本史概説Ⅰ	2	人文地理学Ⅱ	2

日本史概説Ⅱ	2	自然地理学	2
日本史概説Ⅲ	2	地誌学	2
西洋史概説Ⅰ	2	法学概論	2
西洋史概説Ⅱ	2	哲学概論Ⅰ	2
東洋史概説	2	哲学概論Ⅱ	2
地理学Ⅰ	2	倫理学概論Ⅰ	2
人文地理学Ⅰ	2	倫理学概論Ⅱ	2

(経営学部 経営学科)

教養教育科目

種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数
人文科学 関係 係	哲学Ⅰ	2	社会 科学 学 関 係	経済学の基礎Ⅰ	2	自然 科学 学 関 係	統計学Ⅰ	2	総合 関係 係	◎ITスキルズ 教養教育特殊講義 (総合教養)	2	キャリア 教育 関係 係	教養教育特殊講義 (キャリア教育)	
	哲学Ⅱ	2		経済学の基礎Ⅱ	2		統計学Ⅱ	2					インターンシップ活用Ⅰ	2
	論理学Ⅰ	2		社会学の基礎Ⅰ	2		情報科学Ⅰ	2					インターンシップ活用Ⅱ	2
	論理学Ⅱ	2		社会学の基礎Ⅱ	2		情報科学Ⅱ	2					インターンシップ研修A	2
	歴史学Ⅰ	2		法学の基礎	2		情報セキュリティ	2					インターンシップ研修B	1
	歴史学Ⅱ	2		日本国憲法	2		プログラミングの基礎	2						
	倫理学Ⅰ	2		政治学の基礎Ⅰ	2		メディア・リテラシー	2						
	倫理学Ⅱ	2		政治学の基礎Ⅱ	2		科学史	2						
	現代地理学Ⅰ	2		国際関係論Ⅰ	2		数学Ⅰ	2						
	現代地理学Ⅱ	2		国際関係論Ⅱ	2		数学Ⅱ	2						
	文学(国文学)	2		宗教と世界Ⅰ	2		環境学Ⅰ	2						
	心理学	2		宗教と世界Ⅱ	2		環境学Ⅱ	2						
	芸術(音楽)	2		地域と福祉	2		生物学	2						
	芸術(美術)	2		大学における学び の視点-法学部-	2		物理学	2						
	比較文化論Ⅰ	2		教養教育特殊講義 (社会科学)			化学	2						
	比較文化論Ⅱ	2					地学	2						
	文章表現Ⅰ	2					薬と健康	2						
	文章表現Ⅱ	2					教養教育特殊講義 (自然科学)							
	宗教学Ⅰ	2												
	宗教学Ⅱ	2												
	教養教育特殊講義 (人文科学)													

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

言語文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
言語	◎総合英語ⅠA	1	韓国語2	2
文化	◎総合英語ⅠB	1	韓国語3	2
基礎	◎総合英語ⅡA	1	韓国語4	2
科目	◎総合英語ⅡB	1	スペイン語1	2
	◎英語演習Ⅰ	1	スペイン語2	2
	◎英語演習Ⅱ	1	日本語1	1
	ドイツ語1	2	日本語2	1
	ドイツ語2	2	日本語3	1
	ドイツ語3	2	日本語4	1
	ドイツ語4	2		
	フランス語1	2		
	フランス語2	2		
	フランス語3	2		
	フランス語4	2		
	中国語1	2		
	中国語2	2		
	中国語3	2		
	中国語4	2		
	韓国語1	2		
言語	英語プレゼンテーションⅠ	2	実用韓国語講座Ⅱ	2
文化	英語プレゼンテーションⅡ	2	韓国語コミュニケーションⅠ	2
応用	英語コミュニケーションⅠ	2	韓国語コミュニケーションⅡ	2
科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語ライティングⅠ	2
	英語ライティングⅠ	2	韓国語ライティングⅡ	2
	英語ライティングⅡ	2	韓国語リーディングⅠ	2
	英語リーディングⅠ	2	韓国語リーディングⅡ	2
	英語リーディングⅡ	2	韓国語ステップアップ	2
	TOEIC対策Ⅰ	2	実用スペイン語講座Ⅰ	2
	TOEIC対策Ⅱ	2	実用スペイン語講座Ⅱ	2
	英語スピーキング演習Ⅰ	1	スペイン語コミュニケーションⅠ	2
	英語スピーキング演習Ⅱ	1	スペイン語コミュニケーションⅡ	2

	英語リスニング演習Ⅰ	1	スペイン語ステップアップ	2
	英語リスニング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅰ	2
	英語リーディング演習Ⅰ	1	応用日本語Ⅱ	2
	英語リーディング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅲ	2
	英語テーマ別講座	2	応用日本語Ⅳ	2
	実用ドイツ語講座Ⅰ	2	外国語検定Ⅰ	2～4
	実用ドイツ語講座Ⅱ	2	外国語検定Ⅱ	2～4
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2	事前研修A	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2	事前研修B	
	ドイツ語ライティング	2	海外語学研修A	
	ドイツ語リーディング	2	海外語学研修B	
	ドイツ語ステップアップ	2	語学助成研修	
	実用フランス語講座Ⅰ	2	言語文化特殊講座	
	実用フランス語講座Ⅱ	2		
	フランス語コミュニケーションⅠ	2		
	フランス語コミュニケーションⅡ	2		
	フランス語ライティング	2		
	フランス語リーディング	2		
	フランス語ステップアップ	2		
	実用中国語講座Ⅰ	2		
	実用中国語講座Ⅱ	2		
	中国語コミュニケーションⅠ	2		
	中国語コミュニケーションⅡ	2		
	中国語ライティングⅠ	2		
	中国語ライティングⅡ	2		
	中国語リーディングⅠ	2		
	中国語リーディングⅡ	2		
	中国語ステップアップ	2		
	実用韓国語講座Ⅰ	2		
言語	英語学Ⅰ	2	ドイツ語圏文化研究	2
文化	英語学Ⅱ	2	フランス語圏文化研究	2
講義	英語圏文学Ⅰ	2	中国語圏文化研究	2
科目	英語圏文学Ⅱ	2	韓国語圏文化研究	2

応用言語学Ⅰ	2	言語文化特殊講義	
応用言語学Ⅱ	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

健康文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康生活	ラケットスポーツⅠ	2	レクリエーション	2
	ラケットスポーツⅡ	2	武道	2
	ボールゲームスポーツⅠ	2	リハビリテーション	2
	ボールゲームスポーツⅡ	2	カヌー	2
	フィットネス	2	ゴルフ	2
	スポーツトレーニング	2	スキー	2
スポーツ科学	身体運動学	2	スポーツ医学	2
健康文化演習	健康文化演習Ⅰ	4	健康文化演習Ⅲ	2
	健康文化演習Ⅱ	4		
体育（教職）	体育（教職）	2		

専門科目

種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数
専門 科目	◎経営学概論	2	専門 科目	マーケティング・リサーチ論	4
	◎会計学通論	2		検定経営学Ⅰ～Ⅶ	
	◎経営情報総論	2		情報資格Ⅰ～ⅩⅢ	
	◎流通総論	2		検定簿記会計Ⅰ～Ⅴ	
	◎経営学部基礎演習	4		流通資格Ⅰ・Ⅱ	
	◎演習第一	4		経済数学	2
	◎演習第二	4		経済史入門	2
	◎演習第三	2		統計学入門Ⅰ	2
	◎卒業論文	4		統計学入門Ⅱ	2
	経営学部総合講座	*		社会経済学Ⅰ	2
	経営学部特別講義	*		社会経済学Ⅱ	2
	外国書講読	4		マクロ経済学Ⅰ	2
	経営史	4		マクロ経済学Ⅱ	2
	企業論	4		ミクロ経済学Ⅰ	2
	経営管理論	4		ミクロ経済学Ⅱ	2
	経営組織論	4		金融論Ⅰ	2

経営戦略論	4	金融論Ⅱ	2
経営財務論	4	経済統計論Ⅰ	2
人的資源管理論	4	経済統計論Ⅱ	2
経営コース特殊講義	*	データ分析入門	2
コンピュータ初級	2	マイクロデータ分析	2
コンピュータ通論	4	マクロデータ分析	2
経営基本統計学	4	金融システム論Ⅰ	2
経営情報システム論	4	金融システム論Ⅱ	2
経営工学概論	4	サービス経済論	2
経営科学	4	産業組織論	2
情報処理論（基礎）	4	組織の経済学	2
情報と職業	2	労働経済学	2
情報社会・倫理論	2	社会保障論Ⅰ	2
マルチメディア演習	2	社会保障論Ⅱ	2
Webデザイン論	4	計量経済学Ⅰ	2
生産管理システム論	2	計量経済学Ⅱ	2
品質管理システム論	2	地域経済学Ⅰ	2
経営データ解析	4	地域経済学Ⅱ	2
情報資源管理論	4	産業連関論	2
情報処理論（応用）	4	情報の経済学	2
経営情報コース特殊講義	*	日本経済論Ⅰ	2
簿記原理	4	日本経済論Ⅱ	2
商業会計論	4	統計リテラシー	2
工業会計論	4	アンケートデータ分析	2
財務会計論Ⅰ	4	観光経済論	2
財務会計論Ⅱ	4	松山市の経済と課題	2
原価計算論	4	愛媛県の経済と課題	2
管理会計論	4	まちづくり学Ⅰ	2
経営分析	4	まちづくり学Ⅱ	2
資金会計論	4	愛媛経済論Ⅰ	2
税務会計論	4	愛媛経済論Ⅱ	2
会計監査論	4	社会調査方法論	4
会計コース特殊講義	*	地域社会学	4

商業論	2	メディア論	4
マーケティング論	4	都市社会学	4
広告論	4	メディアの社会学	4
保険論	4	社会心理学	4
流通史	2	エスノメソドロジー	4
消費者行動論	4	社会統計学	4
銀行論	4	計量社会学	4
物流論	2	法律学入門	4
貿易総論	2	憲法Ⅰ（人権）	4
国際商務論	2	民法Ⅰ（総則）	4
リスクマネジメント論	4	消費者法	2
グローバル・マーケティング論	2	会社法	4
ブランド・マネジメント論	2	手形・小切手法	4
流通コース特殊講義	*	企業法務	4
流通システム論	2	刑法Ⅰ（総論）	4
リテール・マーケティング論	2	労働法Ⅰ	4
サービス・マーケティング論	2	労働法Ⅱ	4
地域ブランド論	2	商法（総則・商行為）	2
サプライチェーン・マネジメント論	2	会社法概論	2

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

[自由選択科目]

授業科目	単位数
職業指導Ⅰ	2
職業指導Ⅱ	2

(人文学部 英語英米文学学科)

教養教育科目

種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数
人 文 科 学 関 係	哲学Ⅰ	2	社 会 科 学 関 係	経済学の基礎Ⅰ	2	自 然 科 学 関 係	統計学Ⅰ	2	総 合 関 係	◎ITスキルズ	2	キ ャ リ ア 教 育 関 係	教養教育特殊講義 (キャリア教育)	
	哲学Ⅱ	2		経済学の基礎Ⅱ	2		統計学Ⅱ	2		教養教育特殊講義 (総合教養)			インターンシップ [※] 活用Ⅰ	2
	論理学Ⅰ	2		経営学の基礎Ⅰ	2		情報科学Ⅰ	2					インターンシップ [※] 活用Ⅱ	2
	論理学Ⅱ	2		経営学の基礎Ⅱ	2		情報科学Ⅱ	2					インターンシップ [※] 研修A	2
	歴史学Ⅰ	2		社会学の基礎Ⅰ	2		情報セキュリティ	2					インターンシップ [※] 研修B	1
	歴史学Ⅱ	2		社会学の基礎Ⅱ	2		プログラミングの基礎	2						
	倫理学Ⅰ	2		法学の基礎	2		メディア・リテラシー	2						
	倫理学Ⅱ	2		日本国憲法	2		科学史	2						
	現代地理学Ⅰ	2		政治学の基礎Ⅰ	2		数学Ⅰ	2						
	現代地理学Ⅱ	2		政治学の基礎Ⅱ	2		数学Ⅱ	2						
	文学(国文学)	2		国際関係論Ⅰ	2		環境学Ⅰ	2						
	心理学	2		国際関係論Ⅱ	2		環境学Ⅱ	2						
	芸術(音楽)	2		宗教と世界Ⅰ	2		生物学	2						
	芸術(美術)	2		宗教と世界Ⅱ	2		物理学	2						
	比較文化論Ⅰ	2		地域と福祉	2		化学	2						
	比較文化論Ⅱ	2		大学における学び の視点-法学部-	2		地学	2						
	文章表現Ⅰ	2		教養教育特殊講義 (社会科学)			薬と健康	2						
	文章表現Ⅱ	2					教養教育特殊講義 (自然科学)							
	宗教学Ⅰ	2												
	宗教学Ⅱ	2												
	教養教育特殊講義 (人文科学)													

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

言語文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
言語 文化 基礎 科目	ドイツ語1	2	韓国語1	2
	ドイツ語2	2	韓国語2	2
	ドイツ語3	2	韓国語3	2
	ドイツ語4	2	韓国語4	2
	フランス語1	2	スペイン語1	2
	フランス語2	2	スペイン語2	2
	フランス語3	2	日本語1	1
	フランス語4	2	日本語2	1
	中国語1	2	日本語3	1
	中国語2	2	日本語4	1
	中国語3	2		
	中国語4	2		
言語 文化 応用 科目	英語プレゼンテーションⅠ	2	韓国語ライティングⅠ	2
	英語プレゼンテーションⅡ	2	韓国語ライティングⅡ	2
	英語コミュニケーションⅠ	2	韓国語リーディングⅠ	2
	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語リーディングⅡ	2
	英語ライティングⅠ	2	実用スペイン語講座Ⅰ	2
	英語ライティングⅡ	2	実用スペイン語講座Ⅱ	2
	英語リーディングⅠ	2	スペイン語コミュニケーションⅠ	2
	英語リーディングⅡ	2	スペイン語コミュニケーションⅡ	2
	TOEIC対策Ⅰ	2	スペイン語ステップアップ	2
	TOEIC対策Ⅱ	2	応用日本語Ⅰ	2
	英語スピーキング演習Ⅰ	1	応用日本語Ⅱ	2
	英語スピーキング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅲ	2
	英語リスニング演習Ⅰ	1	応用日本語Ⅳ	2
	英語リスニング演習Ⅱ	1	外国語検定Ⅰ	2～4
	英語リーディング演習Ⅰ	1	外国語検定Ⅱ	2～4
	英語リーディング演習Ⅱ	1	事前研修A	
	英語テーマ別講座	2	事前研修B	
	実用ドイツ語講座Ⅰ	2	海外語学研修A	
	実用ドイツ語講座Ⅱ	2	海外語学研修B	

	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2	語学助成研修	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2	言語文化特殊講座	
	ドイツ語ライティング	2		
	ドイツ語リーディング	2		
	実用フランス語講座Ⅰ	2		
	実用フランス語講座Ⅱ	2		
	フランス語コミュニケーションⅠ	2		
	フランス語コミュニケーションⅡ	2		
	フランス語ライティング	2		
	フランス語リーディング	2		
	実用中国語講座Ⅰ	2		
	実用中国語講座Ⅱ	2		
	中国語コミュニケーションⅠ	2		
	中国語コミュニケーションⅡ	2		
	中国語ライティングⅠ	2		
	中国語ライティングⅡ	2		
	中国語リーディングⅠ	2		
	中国語リーディングⅡ	2		
	実用韓国語講座Ⅰ	2		
	実用韓国語講座Ⅱ	2		
	韓国語コミュニケーションⅠ	2		
	韓国語コミュニケーションⅡ	2		
言語	英語学Ⅰ	2	ドイツ語圏文化研究	2
文化	英語学Ⅱ	2	フランス語圏文化研究	2
講義	英語圏文学Ⅰ	2	中国語圏文化研究	2
科目	英語圏文学Ⅱ	2	韓国語圏文化研究	2
	応用言語学Ⅰ	2	言語文化特殊講義	
	応用言語学Ⅱ	2		

健康文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康生活	ラケットスポーツⅠ	2	レクリエーション	2
	ラケットスポーツⅡ	2	武道	2
	ボールゲームスポーツⅠ	2	リハビリテーション	2

	ボールゲームスポーツⅡ	2	カヌー	2
	フィットネス	2	ゴルフ	2
	スポーツトレーニング	2	スキー	2
スポーツ科学	身体運動学	2	スポーツ医学	2
健康文化演習	健康文化演習Ⅰ	4	健康文化演習Ⅲ	2
	健康文化演習Ⅱ	4		
体育（教職）	体育（教職）	2		

基礎教育科目

授業科目	単位数
(必修科目)	
EIC1	2
EIC2	2
EIC3	2
EIC4	2
EIC5	2
EIC6	2

演習

授業科目	単位数
(必修科目)	2
英語基礎演習Ⅰ	2
英語基礎演習Ⅱ	2
演習Ⅰ	2
演習Ⅱ	2
演習Ⅲ	2
演習Ⅳ（卒業研究）	

学部共通科目

授業科目	単位数
(必修科目)	
日本語演習	2
(選択科目)	
達成体験研修	2～8
検定実務資格	2～8
人間・キャリア基礎特殊講義	
社会情報処理Ⅰ	2
社会情報処理Ⅱ	2
社会情報処理Ⅲ	2
社会情報処理Ⅳ	2
人間・キャリア特殊講義	

専門教育科目

授業科目	単位数
(必修科目)	
CALL1	2
CALL2	2

授業科目	単位数
アメリカ研究Ⅰ	2
アメリカ研究Ⅱ	2
イギリス研究Ⅰ	2

CALL3	2	イギリス研究Ⅱ	2
CALL4	2	(主要選択科目)	
導入講義	2	時事英語Ⅰ	2
Composition A	2	時事英語Ⅱ	2
Composition B	2	Reading 1～40	各2
英語概論	2	卒業論文	8
検定英語	2～8	(関連科目)	
海外英語研修	2～8	日本経済論Ⅰ	2
◇英米文学概論Ⅰ	2	日本経済論Ⅱ	2
◇英米文学概論Ⅱ	2	生活と経済	2
◆言語の科学入門Ⅰ	2	西洋経済史Ⅰ	2
◆言語の科学入門Ⅱ	2	西洋経済史Ⅱ	2
英語教育学入門	2	近代ヨーロッパ経済史	2
英語科教育法Ⅰ	2	歴史系統特殊講義A	
英語科教育法Ⅱ	2	歴史系統特殊講義B	
英語科教育法Ⅲ	2	EU経済論	2
英語科教育法Ⅳ	2	アメリカ経済論	2
比較文学研究	2	開発経済学	2
異文化コミュニケーション論	2	中国経済論	2
英語音声学Ⅰ	2	アジア経済論	2
英語音声学Ⅱ	2	上海研修	4
検定英語対策1	2	国際系統特殊講義A	
検定英語対策2	2	国際系統特殊講義B	
検定英語対策3	2	統計学入門Ⅰ	2
検定英語対策4	2	統計学入門Ⅱ	2
検定英語対策5	2	統計リテラシー	2
検定英語対策6	2	データ分析入門	2
Presentations in E	2	まちづくり学Ⅰ	2
Advanced Reading 1～20	各2	まちづくり学Ⅱ	2
Advanced E. Writing	2	愛媛経済論Ⅰ	2
英文学研究	2	愛媛経済論Ⅱ	2
米文学研究	2	簿記原理	4
英文法論Ⅰ	2	家族社会学	4
英文法論Ⅱ	2	地域社会学	4

英語コミュニケーション特殊講義		メディア論	4
英米文学特殊講義		社会福祉学概論Ⅰ	2
英語学特殊講義		社会福祉学概論Ⅱ	2
英米文化特殊講義		社会学基礎特殊講義	
英語教育学特殊講義		都市社会学	4
環境社会学	4	環境法	2
宗教社会学	4	民法Ⅰ（総則）	4
政治社会学	4	民法Ⅱ（物権）	4
国際社会学Ⅰ	2	民法Ⅲ（債権総論）	4
国際社会学Ⅱ	2	民法Ⅳ（契約）	4
教育社会学	4	民法Ⅴ（法定債権）	2
臨床社会学	4	民法Ⅵ（親族）	4
社会問題の社会学	2	民法Ⅶ（相続）	2
社会心理学	4	消費者法	2
地域福祉論Ⅰ	2	商法（総則・商行為）	2
地域福祉論Ⅱ	2	会社法概論	2
社会的排除	2	会社法	4
障害福祉論	2	手形・小切手法	4
家庭福祉論	2	刑法Ⅰ（総論）	4
社会学応用特殊講義		刑法Ⅱ（各論）	4
社会情報特殊講義		犯罪学	2
地域・国際・環境特殊講義		刑事訴訟法	4
メディア・現代社会特殊講義		労働法Ⅰ	4
精神保健福祉論	2	国際政治	4
社会福祉特殊講義		国際法	4
政治学入門	4	政治学	4
憲法Ⅰ（人権）	4	政治外交史Ⅰ	4
憲法Ⅱ（統治）	4	政治外交史Ⅱ	4
行政法Ⅰ（作用法）	4	国際組織論	2

備考 ◇印のある授業科目は文学・文化コースの必修科目である。

◆印のある授業科目は語学・教育学コースの必修科目である。

(人文学部 社会学科)

教養教育科目

種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数
人 文 科 学 関 係	哲学Ⅰ	2	社 会 科 学 関 係	経済学の基礎Ⅰ	2	自 然 科 学 関 係	統計学Ⅰ	2	総 合 関 係	◎ITスキルズ 教養教育特殊講義 (総合教養)	2	キ ャ リ ア 教 育 関 係	教養教育特殊講義 (キャリア教育)	
	哲学Ⅱ	2		経済学の基礎Ⅱ	2		統計学Ⅱ	2					インターンシップ°活用Ⅰ	2
	論理学Ⅰ	2		経営学の基礎Ⅰ	2		情報科学Ⅰ	2					インターンシップ°活用Ⅱ	2
	論理学Ⅱ	2		経営学の基礎Ⅱ	2		情報科学Ⅱ	2					インターンシップ°研修A	2
	歴史学Ⅰ	2		法学の基礎	2		情報セキュリティ	2					インターンシップ°研修B	1
	歴史学Ⅱ	2		日本国憲法	2		プログラミング°の基礎	2						
	倫理学Ⅰ	2		政治学の基礎Ⅰ	2		メディア・リテラシー	2						
	倫理学Ⅱ	2		政治学の基礎Ⅱ	2		科学史	2						
	現代地理学Ⅰ	2		国際関係論Ⅰ	2		数学Ⅰ	2						
	現代地理学Ⅱ	2		国際関係論Ⅱ	2		数学Ⅱ	2						
	文学(国文学)	2		宗教と世界Ⅰ	2		環境学Ⅰ	2						
	心理学	2		宗教と世界Ⅱ	2		環境学Ⅱ	2						
	芸術(音楽)	2		地域と福祉	2		生物学	2						
	芸術(美術)	2		大学における学び の視点-法学部-	2		物理学	2						
	比較文化論Ⅰ	2		教養教育特殊講義 (社会科学)			化学	2						
	比較文化論Ⅱ	2					地学	2						
	文章表現Ⅰ	2					薬と健康	2						
	文章表現Ⅱ	2					教養教育特殊講義 (自然科学)							
	宗教学Ⅰ	2												
	宗教学Ⅱ	2												
	教養教育特殊講義 (人文科学)													

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

言語文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
言語	◎総合英語ⅠA	1	韓国語2	2
文化	◎総合英語ⅠB	1	韓国語3	2
基礎	◎総合英語ⅡA	1	韓国語4	2
科目	◎総合英語ⅡB	1	スペイン語1	2
	◎英語演習Ⅰ	1	スペイン語2	2
	◎英語演習Ⅱ	1	日本語1	1
	ドイツ語1	2	日本語2	1
	ドイツ語2	2	日本語3	1
	ドイツ語3	2	日本語4	1
	ドイツ語4	2		
	フランス語1	2		
	フランス語2	2		
	フランス語3	2		
	フランス語4	2		
	中国語1	2		
	中国語2	2		
	中国語3	2		
	中国語4	2		
	韓国語1	2		
言語	英語プレゼンテーションⅠ	2	実用韓国語講座Ⅱ	2
文化	英語プレゼンテーションⅡ	2	韓国語コミュニケーションⅠ	2
応用	英語コミュニケーションⅠ	2	韓国語コミュニケーションⅡ	2
科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語ライティングⅠ	2
	英語ライティングⅠ	2	韓国語ライティングⅡ	2
	英語ライティングⅡ	2	韓国語リーディングⅠ	2
	英語リーディングⅠ	2	韓国語リーディングⅡ	2
	英語リーディングⅡ	2	韓国語ステップアップ	2
	TOEIC対策Ⅰ	2	実用スペイン語講座Ⅰ	2
	TOEIC対策Ⅱ	2	実用スペイン語講座Ⅱ	2
	英語スピーキング演習Ⅰ	1	スペイン語コミュニケーションⅠ	2
	英語スピーキング演習Ⅱ	1	スペイン語コミュニケーションⅡ	2

	英語リスニング演習Ⅰ	1	スペイン語ステップアップ	2
	英語リスニング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅰ	2
	英語リーディング演習Ⅰ	1	応用日本語Ⅱ	2
	英語リーディング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅲ	2
	英語テーマ別講座	2	応用日本語Ⅳ	2
	実用ドイツ語講座Ⅰ	2	外国語検定Ⅰ	2～4
	実用ドイツ語講座Ⅱ	2	外国語検定Ⅱ	2～4
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2	事前研修A	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2	事前研修B	
	ドイツ語ライティング	2	海外語学研修A	
	ドイツ語リーディング	2	海外語学研修B	
	ドイツ語ステップアップ	2	語学助成研修	
	実用フランス語講座Ⅰ	2	言語文化特殊講座	
	実用フランス語講座Ⅱ	2		
	フランス語コミュニケーションⅠ	2		
	フランス語コミュニケーションⅡ	2		
	フランス語ライティング	2		
	フランス語リーディング	2		
	フランス語ステップアップ	2		
	実用中国語講座Ⅰ	2		
	実用中国語講座Ⅱ	2		
	中国語コミュニケーションⅠ	2		
	中国語コミュニケーションⅡ	2		
	中国語ライティングⅠ	2		
	中国語ライティングⅡ	2		
	中国語リーディングⅠ	2		
	中国語リーディングⅡ	2		
	中国語ステップアップ	2		
	実用韓国語講座Ⅰ	2		
言語	英語学Ⅰ	2	ドイツ語圏文化研究	2
文化	英語学Ⅱ	2	フランス語圏文化研究	2
講義	英語圏文学Ⅰ	2	中国語圏文化研究	2
科目	英語圏文学Ⅱ	2	韓国語圏文化研究	2

応用言語学Ⅰ	2	言語文化特殊講義	
応用言語学Ⅱ	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

健康文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康生活	ラケットスポーツⅠ	2	レクリエーション	2
	ラケットスポーツⅡ	2	武道	2
	ボールゲームスポーツⅠ	2	リハビリテーション	2
	ボールゲームスポーツⅡ	2	カヌー	2
	フィットネス	2	ゴルフ	2
	スポーツトレーニング	2	スキー	2
スポーツ科学	身体運動学	2	スポーツ医学	2
健康文化演習	健康文化演習Ⅰ	4	健康文化演習Ⅲ	2
	健康文化演習Ⅱ	4		
体育（教職）	体育（教職）	2		

演習科目・卒業論文

授業科目	単位数
◎基礎演習	4
◎演習Ⅰ	2
◎演習Ⅱ	2
◎演習Ⅲ	2
◎演習Ⅳ	2
◎演習Ⅴ	2
◎卒業論文	4

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

学部共通科目（人間・キャリア科目）

授業科目	単位数	授業科目	単位数
◎日本語演習	2	検定英語対策2	2
達成体験研修	2～8	検定英語対策3	2
検定実務資格	2～8	検定英語対策4	2
海外英語研修	2～8	検定英語対策5	2
人間・キャリア基礎特殊講義		検定英語対策6	2
検定英語対策1	2	人間・キャリア特殊講義	

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

専門教育科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
(社会学科目)		地域福祉論Ⅰ	2
◎社会学入門Ⅰ	2	地域福祉論Ⅱ	2
◎社会学入門Ⅱ	2	社会的排除	2
◎社会調査方法論	4	家庭福祉論	2
社会統計学	4	障害福祉論	2
質的調査論	4	精神保健福祉論	2
家族社会学	4	社会問題の社会学	2
地域社会学	4	臨床社会学	4
メディア論	4	社会学応用特殊講義	
社会福祉学概論Ⅰ	2	社会学史	4
社会福祉学概論Ⅱ	2	エスノメソドロジー	4
社会学基礎特殊講義		社会学文献講読	4
社会学原論	4	社会学理論特殊講義	
歴史社会学	4	社会調査実習Ⅰ	4
計量社会学	4	社会調査実習Ⅱ	4
社会情報処理Ⅰ	2	社会調査特殊講義	
社会情報処理Ⅱ	2	社会情報特殊講義	
社会情報処理Ⅲ	2	地域・国際・環境特殊講義	
社会情報処理Ⅳ	2	メディア・現代社会特殊講義	
都市社会学	4	社会福祉特殊講義	
環境社会学	4	(関連科目)	
宗教社会学	4	経済史入門	2
政治社会学	4	統計学入門Ⅰ	2
国際社会学Ⅰ	2	統計学入門Ⅱ	2
国際社会学Ⅱ	2	マイクロデータ分析	2
文化人類学	4	社会経済学Ⅰ	2
メディアの社会学	4	社会経済学Ⅱ	2
ジェンダー論	4	ミクロ経済学Ⅰ	2
教育社会学	4	ミクロ経済学Ⅱ	2
現代社会学	2	マクロ経済学Ⅰ	2
社会心理学	4	マクロ経済学Ⅱ	2
臨床心理学	4	基礎理論系統特殊講義A	

基礎理論系統特殊講義B		応用理論系統特殊講義A	
経済学史	2	応用理論系統特殊講義B	
データ分析入門	2	地域史	2
社会政策論	2	医療経済学	2
金融論Ⅰ	2	愛媛経済論Ⅰ	2
金融論Ⅱ	2	愛媛経済論Ⅱ	2
社会保障論Ⅰ	2	社会思想史Ⅰ	2
社会保障論Ⅱ	2	社会思想史Ⅱ	2
政策系統特殊講義A		簿記原理	4
政策系統特殊講義B		経営史	4
国際経済学Ⅰ	2	経営情報システム論	4
国際経済学Ⅱ	2	経営科学	4
日本経済論Ⅰ	2	マーケティング論	4
日本経済論Ⅱ	2	アメリカ研究Ⅰ	2
日本経済史Ⅰ	2	アメリカ研究Ⅱ	2
日本経済史Ⅱ	2	イギリス研究Ⅰ	2
西洋経済史Ⅰ	2	イギリス研究Ⅱ	2
西洋経済史Ⅱ	2	英語概論	2
近代ヨーロッパ経済史	2	比較文学研究	2
歴史系統特殊講義A		異文化コミュニケーション論	2
歴史系統特殊講義B		英語コミュニケーション特殊講義	
開発経済学	2	英米文学特殊講義	
国際系統特殊講義A		英語学特殊講義	
国際系統特殊講義B		英米文化特殊講義	
統計系統特殊講義A		英語教育学特殊講義	
統計系統特殊講義B		法律学入門	4
愛媛県の経済と課題	2	政治学入門	4
地方財政論Ⅰ	2	憲法Ⅰ（人権）	4
地方財政論Ⅱ	2	憲法Ⅱ（統治）	4
松山市の経済と課題	2	民法Ⅰ（総則）	4
まちづくり学Ⅰ	2	民法Ⅱ（物権）	4
まちづくり学Ⅱ	2	民法Ⅲ（債権総論）	4
地域経済系統特殊講義A		民法Ⅳ（契約）	4
地域経済系統特殊講義B		民法Ⅴ（法定債権）	2

民法Ⅵ（親族）	4	法制史	4
民法Ⅶ（相続）	2	法社会学	4
行政法Ⅰ（作用法）	4	政治外交史Ⅰ	4
政治学	4	政治外交史Ⅱ	4
政治思想史	4	国際組織論	2
地方自治法	4	労働法Ⅰ	4
国際法	4	労働法Ⅱ	4
環境法	2	法政特別講義	

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

〔自由選択科目〕

授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本史概説Ⅰ	2	人文地理学Ⅱ	2
日本史概説Ⅱ	2	自然地理学	2
日本史概説Ⅲ	2	地誌学	2
西洋史概説Ⅰ	2	法学概論	2
西洋史概説Ⅱ	2	哲学概論Ⅰ	2
東洋史概説	2	哲学概論Ⅱ	2
地理学Ⅰ	2	倫理学概論Ⅰ	2
人文地理学Ⅰ	2	倫理学概論Ⅱ	2

(法学部 法学科)

教養教育科目

種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数	種 別	授業科目	単 位 数
人 文 科 学 関 係	哲学Ⅰ	2	社 会 科 学 関 係	経済学の基礎Ⅰ	2	自 然 科 学 関 係	統計学Ⅰ	2	総 合 関 係	ITスキルズ	2	キ ャ リ ア 教 育 関 係	教養教育特殊講義 (キャリア教育)	
	哲学Ⅱ	2		経済学の基礎Ⅱ	2		統計学Ⅱ	2		教養教育特殊講義 (総合教養)			インターンシップ ^o 活用Ⅰ	2
	論理学Ⅰ	2		経営学の基礎Ⅰ	2		情報科学Ⅰ	2					インターンシップ ^o 活用Ⅱ	2
	論理学Ⅱ	2		経営学の基礎Ⅱ	2		情報科学Ⅱ	2					インターンシップ ^o 研修A	2
	歴史学Ⅰ	2		社会学の基礎Ⅰ	2		情報セキュリティ	2					インターンシップ ^o 研修B	1
	歴史学Ⅱ	2		社会学の基礎Ⅱ	2		プログラミングの基礎	2						
	倫理学Ⅰ	2		国際関係論Ⅰ	2		メディア・リテラシー	2						
	倫理学Ⅱ	2		国際関係論Ⅱ	2		科学史	2						
	現代地理学Ⅰ	2		宗教と世界Ⅰ	2		数学Ⅰ	2						
	現代地理学Ⅱ	2		宗教と世界Ⅱ	2		数学Ⅱ	2						
	文学(国文学)	2		地域と福祉	2		環境学Ⅰ	2						
	心理学	2		大学における学び の視点-法学部-	2		環境学Ⅱ	2						
	芸術(音楽)	2		教養教育特殊講義 (社会科学)			生物学	2						
	芸術(美術)	2					物理学	2						
	比較文化論Ⅰ	2					化学	2						
	比較文化論Ⅱ	2					地学	2						
	文章表現Ⅰ	2					薬と健康	2						
	文章表現Ⅱ	2					教養教育特殊講義 (自然科学)							
	宗教学Ⅰ	2												
	宗教学Ⅱ	2												
	教養教育特殊講義 (人文科学)													

言語文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
言語	◎総合英語ⅠA	1	韓国語2	2
文化	◎総合英語ⅠB	1	韓国語3	2
基礎	◎総合英語ⅡA	1	韓国語4	2
科目	◎総合英語ⅡB	1	スペイン語1	2
	◎英語演習Ⅰ	1	スペイン語2	2
	◎英語演習Ⅱ	1	日本語1	1
	ドイツ語1	2	日本語2	1
	ドイツ語2	2	日本語3	1
	ドイツ語3	2	日本語4	1
	ドイツ語4	2		
	フランス語1	2		
	フランス語2	2		
	フランス語3	2		
	フランス語4	2		
	中国語1	2		
	中国語2	2		
	中国語3	2		
	中国語4	2		
	韓国語1	2		
言語	英語プレゼンテーションⅠ	2	実用韓国語講座Ⅱ	2
文化	英語プレゼンテーションⅡ	2	韓国語コミュニケーションⅠ	2
応用	英語コミュニケーションⅠ	2	韓国語コミュニケーションⅡ	2
科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語ライティングⅠ	2
	英語ライティングⅠ	2	韓国語ライティングⅡ	2
	英語ライティングⅡ	2	韓国語リーディングⅠ	2
	英語リーディングⅠ	2	韓国語リーディングⅡ	2
	英語リーディングⅡ	2	韓国語ステップアップ	2
	TOEIC対策Ⅰ	2	実用スペイン語講座Ⅰ	2
	TOEIC対策Ⅱ	2	実用スペイン語講座Ⅱ	2
	英語スピーキング演習Ⅰ	1	スペイン語コミュニケーションⅠ	2
	英語スピーキング演習Ⅱ	1	スペイン語コミュニケーションⅡ	2

	英語リスニング演習Ⅰ	1	スペイン語ステップアップ	2
	英語リスニング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅰ	2
	英語リーディング演習Ⅰ	1	応用日本語Ⅱ	2
	英語リーディング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅲ	2
	英語テーマ別講座	2	応用日本語Ⅳ	2
	実用ドイツ語講座Ⅰ	2	外国語検定Ⅰ	2～4
	実用ドイツ語講座Ⅱ	2	外国語検定Ⅱ	2～4
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2	事前研修A	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2	事前研修B	
	ドイツ語ライティング	2	海外語学研修A	
	ドイツ語リーディング	2	海外語学研修B	
	ドイツ語ステップアップ	2	語学助成研修	
	実用フランス語講座Ⅰ	2	言語文化特殊講座	
	実用フランス語講座Ⅱ	2		
	フランス語コミュニケーションⅠ	2		
	フランス語コミュニケーションⅡ	2		
	フランス語ライティング	2		
	フランス語リーディング	2		
	フランス語ステップアップ	2		
	実用中国語講座Ⅰ	2		
	実用中国語講座Ⅱ	2		
	中国語コミュニケーションⅠ	2		
	中国語コミュニケーションⅡ	2		
	中国語ライティングⅠ	2		
	中国語ライティングⅡ	2		
	中国語リーディングⅠ	2		
	中国語リーディングⅡ	2		
	中国語ステップアップ	2		
	実用韓国語講座Ⅰ	2		
言語	英語学Ⅰ	2	ドイツ語圏文化研究	2
文化	英語学Ⅱ	2	フランス語圏文化研究	2
講義	英語圏文学Ⅰ	2	中国語圏文化研究	2
科目	英語圏文学Ⅱ	2	韓国語圏文化研究	2

応用言語学Ⅰ	2	言語文化特殊講義	
応用言語学Ⅱ	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

健康文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康生活	ラケットスポーツⅠ	2	レクリエーション	2
	ラケットスポーツⅡ	2	武道	2
	ボールゲームスポーツⅠ	2	リハビリテーション	2
	ボールゲームスポーツⅡ	2	カヌー	2
	フィットネス	2	ゴルフ	2
	スポーツトレーニング	2	スキー	2
スポーツ科学	身体運動学	2	スポーツ医学	2
健康文化演習	健康文化演習Ⅰ	4	健康文化演習Ⅲ	2
	健康文化演習Ⅱ	4		
体育（教職）	体育（教職）	2		

学部科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
（演習 卒業論文）		民法Ⅳ（契約）	4
○基礎演習Ⅰ	4	民法Ⅴ（法定債権）	2
基礎演習Ⅱ	4	民法Ⅵ（親族）	4
◎専門演習Ⅰ	4	民法Ⅶ（相続）	2
◎専門演習Ⅱ	2	消費者法	2
卒業論文	4	商法（総則・商行為）	2
（法政科目）		会社法概論	2
○法律学入門	4	会社法	4
○政治学入門	4	手形・小切手法	4
◎憲法Ⅰ（人権）	4	企業法務	4
憲法Ⅱ（統治）	4	民事訴訟法	4
行政法Ⅰ（作用法）	4	民事執行・保全法，倒産法	4
行政法Ⅱ（救済法）	4	◎刑法Ⅰ（総論）	4
地方自治法	4	刑法Ⅱ（各論）	4
環境法	2	刑事政策論	2
◎民法Ⅰ（総則）	4	犯罪学	2
民法Ⅱ（物権）	4	刑事訴訟法	4

民法Ⅲ（債権総論）	4	少年法	2
労働法Ⅰ	4	社会政策論	2
労働法Ⅱ	4	財政学Ⅰ	2
国際法	4	財政学Ⅱ	2
政治学	4	社会保障論Ⅰ	2
政治思想史	4	社会保障論Ⅱ	2
政治過程論	4	国際経済学Ⅰ	2
行政学	4	国際経済学Ⅱ	2
政治外交史Ⅰ	4	日本経済論Ⅰ	2
政治外交史Ⅱ	4	日本経済論Ⅱ	2
国際政治	4	地域経済学Ⅰ	2
国際組織論	2	地域経済学Ⅱ	2
法哲学	4	簿記原理	4
法制史	4	経営管理論	4
法社会学	4	経営情報システム論	4
松山大学の歩み	2	税務会計論	4
判例読解1～19	各2	マーケティング論	4
論文作法（法律）1～15	各2	流通システム論	2
論文作法（政治）1～4	各2	リテール・マーケティング論	2
外国書講読1～19	各4	銀行論	4
法政特別講義		貿易総論	2
リレー講座		国際商務論	2
（関連科目）		家族社会学	4
ミクロ経済学Ⅰ	2	地域社会学	4
ミクロ経済学Ⅱ	2	文化人類学	4
マクロ経済学Ⅰ	2	教育社会学	4
マクロ経済学Ⅱ	2	社会心理学	4

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

○印のある授業科目は履修を義務づける科目である。

〔自由選択科目〕

授業科目	単位数	授業科目	単位数
日本史概説Ⅰ	2	人文地理学Ⅱ	2
日本史概説Ⅱ	2	自然地理学	2
日本史概説Ⅲ	2	地誌学	2

西洋史概説Ⅰ	2	哲学概論Ⅰ	2
西洋史概説Ⅱ	2	哲学概論Ⅱ	2
東洋史概説	2	倫理学概論Ⅰ	2
地理学Ⅰ	2	倫理学概論Ⅱ	2
人文地理学Ⅰ	2	日本国憲法	2

(薬学部 医療薬学科)

教養教育科目

種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数	種別	授業科目	単位数
人文科学関係	哲学Ⅰ	2	社会科学関係	経済学の基礎Ⅰ	2	自然科学	統計学Ⅰ	2	総合関係	◎ITスキルズ	2	キャリア教育関係	教養教育特殊講義 (キャリア教育)	
	哲学Ⅱ	2		経済学の基礎Ⅱ	2		統計学Ⅱ	2		教養教育特殊講義 (総合教養)			インターンシップ活用Ⅰ	2
	論理学Ⅰ	2		経営学の基礎Ⅰ	2		情報科学Ⅰ	2					インターンシップ活用Ⅱ	2
	論理学Ⅱ	2		経営学の基礎Ⅱ	2		情報科学Ⅱ	2					インターンシップ研修A	2
	歴史学Ⅰ	2		社会学の基礎Ⅰ	2		情報セキュリティ	2					インターンシップ研修B	1
	歴史学Ⅱ	2		社会学の基礎Ⅱ	2		プログラミングの基礎	2						
	現代地理学Ⅰ	2		法学の基礎	2		メディア・リテラシー	2						
	現代地理学Ⅱ	2		日本国憲法	2		科学史	2						
	文学(国文学)	2		政治学の基礎Ⅰ	2		数学Ⅰ	2						
	心理学	2		政治学の基礎Ⅱ	2		数学Ⅱ	2						
	芸術(音楽)	2		国際関係論Ⅰ	2		環境学Ⅰ	2						
	芸術(美術)	2		国際関係論Ⅱ	2		環境学Ⅱ	2						
	比較文化論Ⅰ	2		宗教と世界Ⅰ	2		生物学	2						
	比較文化論Ⅱ	2		宗教と世界Ⅱ	2		物理学	2						
	文章表現Ⅰ	2		地域と福祉	2		化学	2						
	文章表現Ⅱ	2		大学における学び の視点-法学部-	2		地学	2						
	宗教学Ⅰ	2		教養教育特殊講義 (社会科学)			薬と健康	2						
	宗教学Ⅱ	2					教養教育特殊講義 (自然科学)							
	教養教育特殊講義 (人文科学)													

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

言語文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
言語	◎総合英語ⅠA	1	韓国語1	2
文化	◎総合英語ⅠB	1	韓国語2	2
基礎	◎英語演習Ⅰ	1	韓国語3	2
科目	◎英語演習Ⅱ	1	韓国語4	2
	ドイツ語1	2	日本語1	1
	ドイツ語2	2	日本語2	1
	ドイツ語3	2	日本語3	1
	ドイツ語4	2	日本語4	1
	フランス語1	2		
	フランス語2	2		
	フランス語3	2		
	フランス語4	2		
	中国語1	2		
	中国語2	2		
	中国語3	2		
	中国語4	2		
言語	英語プレゼンテーションⅠ	2	実用韓国語講座Ⅱ	2
文化	英語プレゼンテーションⅡ	2	韓国語コミュニケーションⅠ	2
応用	英語コミュニケーションⅠ	2	韓国語コミュニケーションⅡ	2
科目	英語コミュニケーションⅡ	2	韓国語ライティングⅠ	2
	英語ライティングⅠ	2	韓国語ライティングⅡ	2
	英語ライティングⅡ	2	韓国語リーディングⅠ	2
	英語リーディングⅠ	2	韓国語リーディングⅡ	2
	英語リーディングⅡ	2	韓国語ステップアップ	2
	TOEIC対策Ⅰ	2	応用日本語Ⅰ	2
	TOEIC対策Ⅱ	2	応用日本語Ⅱ	2
	英語スピーキング演習Ⅰ	1	応用日本語Ⅲ	2
	英語スピーキング演習Ⅱ	1	応用日本語Ⅳ	2
	英語リスニング演習Ⅰ	1	外国語検定Ⅰ	2～4
	英語リスニング演習Ⅱ	1	外国語検定Ⅱ	2～4
	英語リーディング演習Ⅰ	1	事前研修A	

	英語リーディング演習Ⅱ	1	事前研修B	
	英語テーマ別講座	2	海外語学研修A	
	実用ドイツ語講座Ⅰ	2	海外語学研修B	
	実用ドイツ語講座Ⅱ	2	語学助成研修	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	2	言語文化特殊講座	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	2		
	ドイツ語ライティング	2		
	ドイツ語リーディング	2		
	ドイツ語ステップアップ	2		
	実用フランス語講座Ⅰ	2		
	実用フランス語講座Ⅱ	2		
	フランス語コミュニケーションⅠ	2		
	フランス語コミュニケーションⅡ	2		
	フランス語ライティング	2		
	フランス語リーディング	2		
	フランス語ステップアップ	2		
	実用中国語講座Ⅰ	2		
	実用中国語講座Ⅱ	2		
	中国語コミュニケーションⅠ	2		
	中国語コミュニケーションⅡ	2		
	中国語ライティングⅠ	2		
	中国語ライティングⅡ	2		
	中国語リーディングⅠ	2		
	中国語リーディングⅡ	2		
	中国語ステップアップ	2		
	実用韓国語講座Ⅰ	2		
言語	英語学Ⅰ	2	ドイツ語圏文化研究	2
文化	英語学Ⅱ	2	フランス語圏文化研究	2
講義	英語圏文学Ⅰ	2	中国語圏文化研究	2
科目	英語圏文学Ⅱ	2	韓国語圏文化研究	2
	応用言語学Ⅰ	2	言語文化特殊講義	
	応用言語学Ⅱ	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

健康文化科目

種別	授業科目	単位数	授業科目	単位数
健康生活	ラケットスポーツⅠ	2	レクリエーション	2
	ラケットスポーツⅡ	2	武道	2
	ボールゲームスポーツⅠ	2	リハビリテーション	2
	ボールゲームスポーツⅡ	2	カヌー	2
	フィットネス	2	ゴルフ	2
	スポーツトレーニング	2	スキー	2
スポーツ科学	身体運動学	2	スポーツ医学	2
健康文化演習	健康文化演習Ⅰ	4	健康文化演習Ⅲ	2
	健康文化演習Ⅱ	4		

専門教育科目

導入科目	単位数
◎薬学へのプロローグ	2
◎薬剤師と医療	2
◎早期臨床体験	2

領域別科目	単位数	領域別科目	単位数
◎倫理基礎	1	◎臨床統計学	2
◎有機化学Ⅰ	2	◎薬のサイエンス英語	1
◎有機化学Ⅱ	2	◎個別化医療	2
◎有機化学Ⅲ	2	◎医薬品構造化学	2
◎有機化学Ⅳ	2	◎漢方薬学	2
◎分子生物学	2	◎腫瘍薬学	2
◎機能形態学	2	◎薬物治療学	2
◎医薬品分析科学	2	◎症候・臨床検査学	2
◎物理化学Ⅰ	2	◎臨床調剤学	2
◎物理化学Ⅱ	2	◎薬の法規・制度	2
◎物質変化と平衡	2	◎医療英語	1
◎天然物化学	2	◎臨床薬学	2
◎生体分子化学	2	◎臨床薬物速度論	2
◎細胞生物学	2	薬用植物学	1
◎機器分析科学	2	発生生物学	1
◎反応速度論	2	コンピュータ生命科学	1

◎生薬学	2	放射薬学	1
◎生化学	2	臨床栄養学	1
◎内分泌学	2	医薬品マーケティング	1
◎神経科学	2	創薬化学	1
◎免疫学	2	毒の科学	1
◎製剤学	2	医療経済学	1
◎生物薬剤学	2	医療コミュニケーション	1
◎薬理学Ⅰ	2	臨床薬物相互作用	1
◎薬理学Ⅱ	2	医用機能性高分子学	1
◎薬理学Ⅲ	2	生命の物理	1
◎微生物学Ⅰ	2	細胞分子医学	1
◎微生物学Ⅱ	2	微生物と免疫	1
◎社会薬学	2	食品香粧機能学	1
◎医薬品情報学	2	薬剤師のための解剖学	1
◎薬物動態学	2	○物理系薬学演習	1
◎物理化学演習	2	○化学系薬学演習	1
◎有機構造解析学	2	○生物系薬学演習	1
◎病態生理学Ⅰ	2	○衛生薬学演習	1
◎病態生理学Ⅱ	2	○薬理学演習	1
◎衛生薬学Ⅰ	2	○病態・薬物治療学演習	1
◎衛生薬学Ⅱ	2	○薬剤学演習	1
◎衛生薬学Ⅲ	2	○薬学実務・法規演習	1
◎衛生薬学Ⅳ	2		

技能科目	単位数
◎医療倫理Ⅰ	1
◎医療倫理Ⅱ	1
◎分析科学実習	1
◎物理化学実習	1
◎有機化学実習	1
◎生化学実習	1
◎生薬学・漢方薬学実習	1

技能科目	単位数
◎薬理学実習	1
◎製剤学実習	1
◎薬剤学実習	1
◎感染症学実習	1
◎衛生薬学実習	1
◎臨床薬学実習	2

総合科目	単位数
◎卒業研究Ⅰ	4
◎卒業研究Ⅱ	4
◎卒業研究Ⅲ	4
◎領域横断薬学	4
◎薬局実務実習	10
◎病院実務実習	10

総合科目	単位数
◎薬学総合演習	4
◎実践臨床薬学	2
国際医療薬学	1
実践地域医療	1
実践臨床推論	1

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

○印のある授業科目は選択必修科目である。

(情報学部 情報学科)

リベラルアーツ科目群

種別		授業科目	単位数	授業科目	単位数
教養教育科目	人文科学分野	哲学Ⅰ	2	比較文化論Ⅱ	2
		哲学Ⅱ	2	文章表現Ⅰ	2
		論理学Ⅰ	2	文章表現Ⅱ	2
		論理学Ⅱ	2	芸術(音楽)	2
		倫理学Ⅰ	2	芸術(美術)	2
		倫理学Ⅱ	2	心理学	2
		比較文化論Ⅰ	2		
	社会科学分野	経済学の基礎Ⅰ	2	日本国憲法	2
		経済学の基礎Ⅱ	2	政治学の基礎Ⅰ	2
		経営学の基礎Ⅰ	2	政治学の基礎Ⅱ	2
		経営学の基礎Ⅱ	2	国際関係論Ⅰ	2
		社会学の基礎Ⅰ	2	国際関係論Ⅱ	2
		社会学の基礎Ⅱ	2	地域と福祉	2
		法学の基礎	2		
	自然科学分野	統計学Ⅰ	2	生物学	2
		統計学Ⅱ	2	物理学	2
		数学Ⅰ	2	化学	2
		数学Ⅱ	2	地学	2
		環境学Ⅰ	2	科学史	2
		環境学Ⅱ	2	薬と健康	2
言語文化科目	言語文化基礎科目	◎総合英語ⅠA	1	◎英語演習Ⅰ	1
		◎総合英語ⅠB	1	◎英語演習Ⅱ	1
	言語文化応用科目	英語プレゼンテーションⅠ	2	英語ライティングⅠ	2
		英語プレゼンテーションⅡ	2	英語ライティングⅡ	2
		英語コミュニケーションⅠ	2	英語リーディングⅠ	2
		英語コミュニケーションⅡ	2	英語リーディングⅡ	2
	言語文化講義	英語学Ⅰ	2	英語圏文学Ⅰ	2
		英語学Ⅱ	2	英語圏文学Ⅱ	2

	科目			
健康文化	身体運動学	2	スポーツ医学	2
科目	体育（教職）	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

学部科目

一般教育科目群	単位数	一般教育科目群	単位数
線形代数Ⅰ	2	コミュニケーション技法論	2
線形代数Ⅱ	2	アントレプレナーシップ入門	2
微分積分Ⅰ	2	コンピュータ概論	2
微分積分Ⅱ	2	アートとデザイン	4

専門科目群	単位数	専門科目群	単位数
◎情報学部基礎セミナー	2	情報セキュリティ基礎	2
◎専門セミナー	4	アプリ開発Ⅰ	2
◎卒業研究	4	アプリ開発Ⅱ	2
◎情報学概論	2	情報セキュリティ対策	2
◎プログラミングⅠ	2	デジタル回路設計Ⅰ	2
プログラミングⅡ	2	デジタル回路設計Ⅱ	2
◎実用情報学	2	クラウド開発	2
物理と情報処理	2	情報セキュリティ実践	2
情報とサステナビリティ	2	情報システム開発	4
情報社会・情報倫理	2	マルチメディア	2
人工知能概論	2	3Dモデリング基礎	2
データ構造とアルゴリズム	2	3Dモデリング	2
Webプログラミング	2	数値計算とシミュレーション	2
データサイエンス入門	2	実写映像制作Ⅰ	2
機械学習	2	実写映像制作Ⅱ	2
データサイエンスⅠ	2	デジタル画像処理Ⅰ	2
データサイエンスⅡ	2	デジタル画像処理Ⅱ	2
ディープラーニング	2	CGアニメーション基礎	2
自然言語処理	2	CGアニメーションⅠ	2
応用情報学	2	CGアニメーションⅡ	2
情報数学	2	CGアニメーションⅢ	2
オペレーティングシステム	2	Webデザイン	2

Linux実践	2	数理モデリング	2
組込みシステム	2	Web制作	2
プログラミング実践	2	物理シミュレーション	2
プロジェクトマネジメント	2	画像解析Ⅰ	2
半導体デバイス工学Ⅰ	2	画像解析Ⅱ	2
半導体デバイス工学Ⅱ	2	ゲームクリエーション基礎	2
情報ネットワークⅠ	2	ゲームデザイン	2
情報ネットワークⅡ	2	ゲームクリエーションⅠ	2
IT概論Ⅰ	2	ゲームクリエーションⅡ	2
IT概論Ⅱ	2	音響情報処理	2
データベース	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

社会実践科目群	単位数	社会実践科目群	単位数
◎プロジェクトデザイン	2	キャリアプランニング	2
プロジェクト実践	4	キャリア教育実践	2
マネジメント実践	4	地域連携インターンシップ	2
◎キャリア探索	2		

備考 ◎印のある授業科目は必修科目である。

周辺科目群	単位数	周辺科目群	単位数
メディア論	4	ブランド・マネジメント論	2
経営科学	4	地域ブランド論	2
マーケティング論	4	流通コース特殊講義（デジタル・マーケティング論）	2

別表(2) 4項 教職に関する科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
社会科教育法Ⅰ	2	教育原理	2
社会科教育法Ⅱ	2	教師論	2
社会科教育法Ⅲ	2	比較教育制度学	2
社会科教育法Ⅳ	2	教育と社会・制度	2
英語科教育法Ⅰ	2	教育心理学	2
英語科教育法Ⅱ	2	特別支援教育論	2
英語科教育法Ⅲ	2	道德教育の理論と方法	2
英語科教育法Ⅳ	2	教育課程論(総合的な学習の時間の指導法を含む。)	2
商業科教育法Ⅰ	2	特別活動の指導法	2
商業科教育法Ⅱ	2	教育の方法と技術	1
情報科教育法Ⅰ	2	ICT活用の理論と方法	1
情報科教育法Ⅱ	2	生徒・進路指導の理論と方法	2
地理歴史科教育法Ⅰ	2	教育相談	2
地理歴史科教育法Ⅱ	2	教育実習入門	1
公民科教育法Ⅰ	2	教育実習事前事後指導	1
公民科教育法Ⅱ	2	教育実習Ⅰ	4
発達支援の理論と実践	2	教育実習Ⅱ	2
子ども理解演習	2	教職実践演習(中・高)	2

別表(3) 5項 司書に関する科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	図書館概論	2
図書館情報技術	2	情報資源の目録・分類演習	2
図書館マネジメント	2	図書館サービス特論	1
図書館利用者サービス	2	学術情報流通論	1
図書館情報サービス	2	情報資源の保存・アーカイブ	1
児童サービス	2	図書・図書館史	1
図書館情報サービス演習	2	図書館建築・設備	1
図書館情報資源概論	2	情報リテラシー	1
情報資源組織論Ⅰ	2	図書館実習	2
情報資源組織論Ⅱ	2		

別表(4) 6項 司書教諭に関する科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
学校経営と学校図書館	2	読書と豊かな人間性	2
学校図書館メディアの構成	2	情報メディアの活用	2
学習指導と学校図書館	2		

○教職課程履修規程

昭和31年4月1日

制定

第1条 松山大学学則（以下「学則」という。）第9条に定める教職課程は、経済学部、経営学部、人文学部、法学部及び情報学部におく。

2 この規程は、学則第9条第2項に基づき、教職課程科目及び履修すべき単位等に関する事項を定めることを目的とする。

3 教職課程科目及び履修すべき単位等に関する事項については、学則に定めるほか、この規程による。

第2条 教職課程については、本学の学生及び松山大学科目等履修生規程第5条・第6条に基づいて教職課程科目を履修することができる科目等履修生に限り、これを履修することができる。

第3条 教員免許状の種類は、次の通りである。

設置学部・学科		免許状の種類	免許教科
経済学部・経済学科		中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
			公民
経営学部・経営学科		高等学校教諭一種免許状	商業
			情報
人文学部	英語英米文学科	中学校教諭一種免許状	英語
		高等学校教諭一種免許状	
	社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
			公民
法学部・法学科		中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
			公民
情報学部・情報学科		高等学校教諭一種免許状	情報

第4条 前条の教員免許状の授与をうけるために必要な基礎資格及び大学における最低修得単位数は、次の通りである。

所要資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	第二欄以外の教科及び教職に関する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許状の種類				
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	28	34	8
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	24	38	8

第5条 中学校教諭一種免許状（英語，社会）及び高等学校教諭一種免許状（英語，商業，情報，地理歴史，公民）の授与をうけるためには，教科及び教職に関する科目，教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について，次の通りの単位数を修得しなければならない。

1. 第二欄 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関する科目，単位数（必修・選択の別）及び履修方法は次の通りである。

イ．英語科科目（人文学部・英語英米文学科）—中学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
英語学	言語の科学入門Ⅰ(2) 言語の科学入門Ⅱ(2)	英語音声学Ⅰ(2) 英語音声学Ⅱ(2) 英文法論Ⅰ(2) 英文法論Ⅱ(2)
英語文学	英米文学概論Ⅰ(2) 英米文学概論Ⅱ(2)	英文学研究(2) 米文学研究(2)
英語コミュニケーション	EIC1(2) EIC2(2)	EIC3(2) EIC4(2) EIC5(2) EIC6(2) CompositionA(2) CompositionB(2) Presentations in E(2)
異文化理解	異文化コミュニケーション論(2)	アメリカ研究Ⅰ(2) アメリカ研究Ⅱ(2) イギリス研究Ⅰ(2) イギリス研究Ⅱ(2)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ(2)② 英語科教育法Ⅱ(2)② 英語科教育法Ⅲ(2)③ 英語科教育法Ⅳ(2)③	
教科最低修得単位数	22	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計28単位	

ロ．英語科科目（人文学部・英語英米文学科）—高等学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
英語学	言語の科学入門Ⅰ(2)	英語音声学Ⅰ(2) 英語音声学Ⅱ(2)

	言語の科学入門Ⅱ(2)	英文法論Ⅰ(2) 英文法論Ⅱ(2)
英語文学	英米文学概論Ⅰ(2) 英米文学概論Ⅱ(2)	英文学研究(2) 米文学研究(2)
英語コミュニケーション	EIC1(2) EIC2(2)	EIC3(2) EIC4(2) EIC5(2) EIC6(2) CompositionA(2) CompositionB(2) Presentations in E(2)
異文化理解	異文化コミュニケーション論(2)	アメリカ研究Ⅰ(2) アメリカ研究Ⅱ(2) イギリス研究Ⅰ(2) イギリス研究Ⅱ(2)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ(2)② 英語科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	18	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

ハ．商業科科目（経営学部・経営学科）—高等学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
商業の関係科目	簿記原理(4) 会計学通論(2) マーケティング論(4)	経営学概論(2) 企業論(4) 経営戦略論(4) 経営管理論(4) 経営財務論(4) 人的資源管理論(4) 経営組織論(4) 商業会計論(4) 原価計算論(4) 管理会計論(4) 経営分析(4) 財務会計論Ⅰ(4) 財務会計論Ⅱ(4) 工業会計論(4) 流通総論(2) 貿易総論(2) 保険論(4) 広告論(4) 消費者行動論(4)
職業指導	職業指導Ⅰ(2)	職業指導Ⅱ(2)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	商業科教育法Ⅰ(2)② 商業科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	16	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

ニ．情報科科目（経営学部・経営学科）—高等学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
情報社会（職業に関する）	情報社会・倫理論(2)	経営情報総論(2)

る内容を含む。)・情報倫理	情報と職業(2)	
コンピュータ・情報処理	コンピュータ通論(4)	コンピュータ初級(2) 経営科学(4)
情報システム	情報処理論(基礎)(4)	経営データ解析(4)
情報通信ネットワーク	情報処理論(応用)(4)	情報資源管理論(4)
マルチメディア表現・マルチメディア技術	マルチメディア演習(2)	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	情報科教育法Ⅰ(2)② 情報科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	22	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

ホ. 情報科科目(情報学部・情報学科)ー高等学校ー

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
情報社会(職業に関する内容を含む。)・情報倫理	情報社会・情報倫理(2)	
コンピュータ・情報処理	オペレーティングシステム(2) データ構造とアルゴリズム(2)	IT概論Ⅰ(2) データベース(2) データサイエンスⅠ(2) 数理モデリング(2) 物理シミュレーション(2)
情報システム	プログラミングⅠ(2) プログラミングⅡ(2)	プログラミング実践(2) Linux実践(2) アプリ開発Ⅰ(2) 機械学習(2) ディープラーニング(2) 情報システム開発(4)
情報通信ネットワーク	情報ネットワークⅠ(2) 情報ネットワークⅡ(2)	クラウド開発(2) 情報セキュリティ対策(2) 情報セキュリティ基礎(2)
マルチメディア表現・マルチメディア技術	マルチメディア(2)	Webプログラミング(2) Webデザイン(2) 実写映像制作Ⅰ(2) デジタル画像処理Ⅰ(2)

術		画像解析Ⅰ(2) 音響情報処理(2)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	情報科教育法Ⅰ(2)② 情報科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	20	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

へ．社会科科目（経済学部・経済学科）—中学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
日本史及び外国史	日本史概説Ⅰ(2) 西洋史概説Ⅰ(2) 東洋史概説(2)	西洋史概説Ⅱ(2) 経済学史(2) 日本経済史Ⅰ(2) 日本経済史Ⅱ(2) 西洋経済史Ⅰ(2) 西洋経済史Ⅱ(2) 近代ヨーロッパ経済史(2) 地域史(2) 社会思想史Ⅰ(2) 社会思想史Ⅱ(2)
地理学（地誌を含む。）	地理学Ⅰ(2) 地誌学(2)	
「法律学，政治学」	法学概論(2)	憲法Ⅰ（人権）(4) 憲法Ⅱ（統治）(4) 民法Ⅰ（総則）(4) 民法Ⅱ（物権）(4) 民法Ⅲ（債権総論）(4) 民法Ⅳ（契約）(4) 会社法(4) 手形・小切手法(4)
「社会学，経済学」	マクロ経済学入門(2) ミクロ経済学入門(2)	統計学入門Ⅰ(2) 統計学入門Ⅱ(2) マクロデータ分析(2) ミクロデータ分析(2) 経済数学(2) 経済政策基礎論(2) 社会政策論(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 金融システム論Ⅰ(2) 金融システム論Ⅱ(2) 組織の経済学(2) 産業連関論(2) 産業組織論(2) 経済成長論(2) 計量経済学Ⅰ(2) 労働経済学(2) 国際経済学Ⅰ(2) 国際経済学Ⅱ(2) 日本経済論Ⅰ(2) 日本経済論Ⅱ(2) 国際貿易論(2) 比較経済システム論(2) 開発経済

		学(2) アジア経済論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 地域経済学Ⅱ(2) 環境経済学(2) 地方財政論Ⅰ(2) 地方財政論Ⅱ(2) 農業経済論(2) 医療経済学(2) 環境・エネルギー政策論(2)
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論Ⅰ(2) 倫理学概論Ⅰ(2)	哲学概論Ⅱ(2) 倫理学概論Ⅱ(2) 文化人類学(4)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科教育法Ⅰ(2)② 社会科教育法Ⅱ(2)② 社会科教育法Ⅲ(2)③ 社会科教育法Ⅳ(2)③	
教科最低修得単位数	28	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計28単位	

ト．地理歴史科科目（経済学部・経済学科）—高等学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
日本史	日本史概説Ⅰ(2) 日本史概説Ⅱ(2)	日本史概説Ⅲ(2) 日本経済史Ⅰ(2) 日本経済史Ⅱ(2) 地域史(2) 政治外交史Ⅰ(4) 法制史(4)
外国史	西洋史概説Ⅰ(2) 東洋史概説(2)	西洋史概説Ⅱ(2) 経済学史(2) 西洋経済史Ⅰ(2) 西洋経済史Ⅱ(2) 近代ヨーロッパ経済史(2) 社会思想史Ⅰ(2) 社会思想史Ⅱ(2) 政治思想史(4) 社会学史(4)
人文地理学及び自然地理学	人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学(2)	人文地理学Ⅱ(2) 地域社会学(4)
地誌	地誌学(2)	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	地理歴史科教育法Ⅰ(2)② 地理歴史科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	18	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

チ．公民科科目（経済学部・経済学科）—高等学校—

所定の科目	授業科目及び単位数
-------	-----------

	必修科目	選択科目
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論(2) 政治学の基礎Ⅱ(2)	政治学入門(4) 憲法Ⅰ（人権）(4) 憲法Ⅱ（統治）(4) 民法Ⅰ（総則）(4) 民法Ⅱ（物権）(4) 民法Ⅲ（債権総論）(4) 民法Ⅳ（契約）(4) 会社法(4) 手形・小切手法(4)
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	マクロ経済学入門(2) ミクロ経済学入門(2) 国際経済学Ⅰ(2)	統計学入門Ⅰ(2) 統計学入門Ⅱ(2) マクロデータ分析(2) ミクロデータ分析(2) 経済数学(2) 経済政策基礎論(2) 社会政策論(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 金融システム論Ⅰ(2) 金融システム論Ⅱ(2) 組織の経済学(2) 産業連関論(2) 産業組織論(2) 経済成長論(2) 計量経済学Ⅰ(2) 労働経済学(2) 国際経済学Ⅱ(2) 日本経済論Ⅰ(2) 日本経済論Ⅱ(2) 国際貿易論(2) 比較経済システム論(2) 開発経済学(2) アジア経済論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 地域経済学Ⅱ(2) 環境経済学(2) 地方財政論Ⅰ(2) 地方財政論Ⅱ(2) 農業経済論(2) 医療経済学(2) 環境・エネルギー政策論(2)
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学概論Ⅰ(2) 倫理学概論Ⅰ(2)	哲学概論Ⅱ(2) 倫理学概論Ⅱ(2) 文化人類学(4)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	公民科教育法Ⅰ(2)② 公民科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	18	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

リ．社会科科目（人文学部・社会学科）—中学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
日本史及び外国史	日本史概説Ⅰ(2) 西洋史概説Ⅰ(2)	西洋史概説Ⅱ(2) 社会学史(4) 近代ヨーロッパ経済史(2)

	東洋史概説(2)	地域史(2) 社会思想史Ⅰ(2) 社会思想史Ⅱ(2)
地理学(地誌を含む。)	地理学Ⅰ(2) 地誌学(2)	地域社会学(4)
「法学, 政治学」	法学概論(2)	憲法Ⅰ(人権)(4) 憲法Ⅱ(統治)(4) 民法Ⅰ(総則)(4) 民法Ⅱ(物権)(4) 民法Ⅲ(債権総論)(4) 行政法Ⅰ(作用法)(4)
「社会学, 経済学」	社会学入門Ⅰ(2) 社会学入門Ⅱ(2)	社会調査方法論(4) 家族社会学(4) メディア論(4) 社会学原論(4) 計量社会学(4) 環境社会学(4) 国際社会学Ⅰ(2) 国際社会学Ⅱ(2) メディアの社会学(4) 教育社会学(4) 現代社会学(2) 社会政策論(2) 医療経済学(2) 臨床社会学(4) 社会問題の社会学(2)
「哲学, 倫理学, 宗教学」	哲学概論Ⅰ(2) 倫理学概論Ⅰ(2)	哲学概論Ⅱ(2) 倫理学概論Ⅱ(2) 文化人類学(4)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	社会科教育法Ⅰ(2)② 社会科教育法Ⅱ(2)② 社会科教育法Ⅲ(2)③ 社会科教育法Ⅳ(2)③	
教科最低修得単位数	28	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計28単位	

ヌ. 地理歴史科科目(人文学部・社会学科)―高等学校―

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
日本史	日本史概説Ⅰ(2) 日本史概説Ⅱ(2)	日本史概説Ⅲ(2) 日本経済史Ⅰ(2) 日本経済史Ⅱ(2) 地域史(2) 法制史(4) 政治外交史Ⅰ(4) 歴史社会学(4)
外国史	西洋史概説Ⅰ(2) 東洋史概説(2)	西洋史概説Ⅱ(2) 社会学史(4) 経済学史(2) 西洋経済史Ⅰ(2) 西洋経済史Ⅱ(2) 近代ヨーロッパ経済史(2) 社会思想史Ⅰ(2) 社会思想史Ⅱ(2) 政治思想史(4)
人文地理学及び自然地理学	人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学(2)	人文地理学Ⅱ(2) 地域社会学(4)

地誌	地誌学(2)	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	地理歴史科教育法Ⅰ(2)② 地理歴史科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	18	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

ル．公民科科目（人文学部・社会学科）—高等学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論(2) 政治学の基礎Ⅱ(2)	政治学入門(4) 憲法Ⅰ（人権）(4) 憲法Ⅱ（統治）(4) 民法Ⅰ（総則）(4) 民法Ⅱ（物権）(4) 民法Ⅲ（債権総論）(4) 行政法Ⅰ（作用法）(4)
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	社会学入門Ⅰ(2) 社会学入門Ⅱ(2) 社会調査方法論(4)	家族社会学(4) メディア論(4) 社会学原論(4) 計量社会学(4) 環境社会学(4) 国際社会学Ⅰ(2) 国際社会学Ⅱ(2) メディアの社会学(4) 教育社会学(4) 現代社会学(2) 社会政策論(2) 医療経済学(2) 臨床社会学(4) 社会問題の社会学(2)
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学概論Ⅰ(2) 倫理学概論Ⅰ(2)	哲学概論Ⅱ(2) 倫理学概論Ⅱ(2) 文化人類学(4) 社会心理学(4)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	公民科教育法Ⅰ(2)② 公民科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	20	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

ヲ．社会科科目（法学部・法学科）—中学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
日本史及び外国史	日本史概説Ⅰ(2) 西洋史概説Ⅰ(2) 東洋史概説(2)	西洋史概説Ⅱ(2) 政治思想史(4) 法制史(4) 政治外交史Ⅰ(4) 近代ヨーロッパ経済史(2) 地域史(2)

		社会思想史Ⅰ(2) 社会思想史Ⅱ(2)
地理学(地誌を含む。)	地理学Ⅰ(2) 地誌学(2)	
「法律学, 政治学」	政治学(4)	憲法Ⅰ(人権)(4) 憲法Ⅱ(統治)(4) 民法Ⅰ(総則)(4) 民法Ⅱ(物権)(4) 民法Ⅲ(債権総論)(4) 民法Ⅳ(契約)(4) 民法Ⅵ(親族)(4) 刑法Ⅰ(総論)(4) 刑法Ⅱ(各論)(4) 行政法Ⅰ(作用法)(4) 行政法Ⅱ(救済法)(4) 国際政治(4) 行政学(4) 地方自治法(4) 会社法(4) 手形・小切手法(4) 民事訴訟法(4) 刑事訴訟法(4)
「社会学, 経済学」	経済学の基礎Ⅱ(2)	経済学の基礎Ⅰ(2) 社会政策論(2) 医療経済学(2) 社会調査方法論(4)
「哲学, 倫理学, 宗教学」	○哲学概論Ⅰ(2) ○倫理学概論Ⅰ(2)	哲学概論Ⅱ(2) 倫理学概論Ⅱ(2)
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	社会科教育法Ⅰ(2)② 社会科教育法Ⅱ(2)② 社会科教育法Ⅲ(2)③ 社会科教育法Ⅳ(2)③	
教科最低修得単位数	26	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計28単位	

備考 ○印のある授業科目は選択必修科目である。

ワ. 地理歴史科科目(法学部・法学科) 一高等学校一

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
日本史	日本史概説Ⅰ(2) 日本史概説Ⅱ(2)	日本史概説Ⅲ(2) 法制史(4) 政治外交史Ⅰ(4) 日本経済史Ⅰ(2) 日本経済史Ⅱ(2) 地域史(2)
外国史	西洋史概説Ⅰ(2) 東洋史概説(2)	西洋史概説Ⅱ(2) 政治思想史(4) 経済学史(2) 西洋経済史Ⅰ(2) 西洋経済史Ⅱ(2) 近代ヨーロッパ経済史(2) 社会思想史Ⅰ(2) 社会思想史Ⅱ(2) 社会学史(4)
人文地理学及び自然	人文地理学Ⅰ(2)	人文地理学Ⅱ(2) 地域社会学(4)

地理学	自然地理学(2)	
地誌	地誌学(2)	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	地理歴史科教育法Ⅰ(2)② 地理歴史科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	18	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

カ．公民科科目（法学部・法学科）—高等学校—

所定の科目	授業科目及び単位数	
	必修科目	選択科目
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	政治学(4) 国際政治(4)	憲法Ⅰ（人権）(4) 憲法Ⅱ（統治）(4) 民法Ⅰ（総則）(4) 民法Ⅱ（物権）(4) 民法Ⅲ（債権総論）(4) 民法Ⅳ（契約）(4) 民法Ⅵ（親族）(4) 刑法Ⅰ（総論）(4) 刑法Ⅱ（各論）(4) 行政法Ⅰ（作用法）(4) 行政法Ⅱ（救済法）(4) 行政学(4) 地方自治法(4) 会社法(4) 手形・小切手法(4) 民事訴訟法(4) 刑事訴訟法(4)
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	経済学の基礎Ⅱ(2) 国際経済学Ⅰ(2)	経済学の基礎Ⅰ(2) 社会政策論(2) 国際経済学Ⅱ(2) 医療経済学(2) 社会調査方法論(4) メディア論(4)
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学概論Ⅰ(2) 倫理学概論Ⅰ(2)	哲学概論Ⅱ(2) 倫理学概論Ⅱ(2) 文化人類学(4)
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	公民科教育法Ⅰ(2)② 公民科教育法Ⅱ(2)②	
教科最低修得単位数	20	
	所定の科目 それぞれ1単位以上計24単位	

ヨ．第二欄の各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）の履修にあたっては、次のとおり履修しなければならない。

① 各教科教育法は、Ⅰの単位を修得しなければ、Ⅱを履修することができない。ただし、

地理歴史科教育法については、その順序を問わない。

② さらに、社会科教育法Ⅲ・Ⅳを履修するためには、Ⅰの単位を修得しておくこと。

③ さらに、英語科教育法Ⅲを履修するためにはⅡの単位、Ⅳを履修するためにはⅢの単位をそれぞれ修得しておくこと。

2. 第二欄以外の教科及び教職に関する科目

第一欄		教科及び教職に関する科目		免許状の種類		授業科目及び単位数
				中学校教諭一種	高等学校教諭一種	
最低修得単位数	第三欄	教育の基	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10 [10]	10 [10]	教育原理(2)①
		礎的	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論(2)①
		理解	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			比較教育制度学(2)選択必修② 教育と社会・制度(2)選択必修②
		に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学(2)①
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論(2)②
			教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			
	第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び	道徳の理論及び指導法	12 [10]	10 [8]	道徳教育の理論と方法(2)② 中免必修
			総合的な学習の時間の指導法※中一種免			教育課程論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）(2)②
			総合的な探究の時間の指導法※高一種免			
			特別活動の指導法			特別活動の指導法(2)②
			教育の方法及び技術			教育の方法と技術(1)②
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			ICT活用の理論と方法(1)②

	生徒指導、教育相談等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			生徒・進路指導の理論と方法(2)② 教育相談(2)②
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習 学校体験活動 教職実践演習	6 [5] 2 [2]	4 [3] 2 [2]	教育実習入門(1)③ 教育実習事前事後指導(1)④ 教育実習Ⅰ(4)④ 教育実習Ⅱ(2)④ 教職実践演習（中・高）(2)④
第六欄	大学が独自に設定する科目		4 [4]	12 [12]	発達支援の理論と実践(2)選択必修② 子ども理解演習(2)選択必修② 学校経営と学校図書館(2)② 学校図書館メディアの構成(2)② 学習指導と学校図書館(2)② 読書と豊かな人間性(2)② 道徳教育の理論と方法(2)② 高免のみ
教職最低修得単位数			34 [31]	38 [35]	

[] 文部科学省令基準 () 単位数 ①～④は配当年次

イ. 第五欄に定める科目のうち、「教育実習入門」，「教育実習Ⅰ」及び「教育実習Ⅱ」については次に示す履修制限を設ける。なお，中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は「教育実習Ⅰ」を，高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」を履修しなければならない。

① 3年次配当科目「教育実習入門」を履修する者は，履修時において，77単位（経済学部及び情報学部は74単位）以上を修得しており，かつ， $GPA [(Sの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1) \div 履修単位数]$ が2.0（小数点第二位以下は切り捨て）以上でなければならない。なお，ここでいう単位や単位数は，卒業単位に算入される科目の単位や単位数を指す。未履修の者は，以後これを準用する。

- ② 「教育実習Ⅰ」，「教育実習Ⅱ」を履修する者は，以下に掲げる科目を修得済であること。

「教師論」，「教育原理」，「教育心理学」，「教科教育法Ⅰ」，「教科教育法Ⅱ」，「教育実習入門」

- ③ 「教育実習事前事後指導」及び「教職実践演習（中・高）」を履修する者は，「教育実習Ⅰ」又は「教育実習Ⅱ」を履修していること。

ロ．第六欄で修得する単位には，第二欄から第五欄のうち最低修得単位を超えて修得した科目を含む。

3．教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に基づき，本学で開講する授業科目は次の通りとする。

教育職員免許状を取得しようとするものは，次の科目を卒業までに修得しなければならない。

教育職員免許法施行規則第66条の6 に定める科目と最低必要単位数		設置学部・学科	授業科目及び単位数	
日本国憲法	2単位	全学部全学科	日本国憲法	2単位
体育	2単位	全学部全学科	体育（教職）	2単位
外国語コミュニケーション	2単位	経済学部経済学科 経営学部経営学科 人文学部社会学科 法学部法学科 情報学部情報学科	総合英語ⅠA 英語演習Ⅰ	各1単位，計2単位
		人文学部英語英米文学科	EIC1	2単位
数理，データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	経済学部経済学科 経営学部経営学科 人文学部英語英米文学科 人文学部社会学科 法学部法学科 情報学部情報学科	ITスキルズ	2単位
			コンピュータ概論	2単位

2 前項の規定により定められた科目は，原則として，教育職員免許法第5条別表第1備考第5号イによる認定課程上の科目でなければならない。

第6条 中学校教諭一種免許状を取得しようとするものは『小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律〔法律第九十号（平九・六・一八）〕』に基づき，介護等体験を行わなくてはならない。

第7条 教職課程の履修については，次の各号の通りとする。

(1) 「履修手続きについて」

教職課程の履修は原則として1年次後期からとする。教職課程の履修を希望するものは、定められた期間内に教職課程履修申込書を教務部教務課へ提出し、所定の教育職員免許状取得に要する特別負担金（以下「教職課程負担金」という）を納入しなければならない。

(2) 「履修の制限について」

在学中、教職課程を履修できる教科は第3条に規定する教科のうち、原則として2教科までとする。

(3) 「履修教科の追加について」

教職課程を履修中のもので教科の追加を希望するものは、定められた期間内に所定の教職課程負担金を納入し、教職課程履修追加申込書を教務部教務課へ提出しなければならない。

(4) 「履修の継続について」

教職課程の履修の継続を希望するものは、定められた期間内に教職課程履修継続確認書に必要事項を記載し、教務部教務課へ提出しなければならない。

第8条 教職課程に関する科目の年間履修単位数は制限なしとする。

第9条 松山大学学則第10条の2、第10条の3、第10条の4の規定により単位を認定された科目のうち、教員免許状取得のために必要な科目については履修を認める。

2 前項の規定により履修を認められた科目の単位は、卒業単位には算入しない。

3 第1項の規定により履修を認められた科目の単位数は、各学部履修規程に規定されている年間履修単位数に含めない。

第10条 教職課程を履修することに要する教職課程負担金は、第7条第1号・第3号に従い、教職課程の履修申し込み、教職課程履修教科の追加申し込み時に教職課程負担金を納付しなければならない。教職課程負担金は、履修しようとする教科数により、1教科20,000円、2教科30,000円とする。なお、教科を追加で履修する際は、1教科10,000円とする。

第11条 この規程は、科目等履修生にも適用する。

第12条 この規程の改廃は、教務委員会、関係する学部教授会、教職課程運営委員会及び教学会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、昭和31年4月1日から施行する。

附 則（昭和40年4月1日）

この規程は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則（昭和46年4月1日）

この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（昭和50年4月1日）

この規程は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年4月1日）

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成元年4月1日）

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成2年4月1日）

この規程は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成3年4月1日）

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

附 則（平成5年4月1日）

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成6年4月1日）

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成7年4月1日）

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年4月1日）

この規程は、平成8年4月1日に改正し、平成7年4月1日に遡って施行する。

附 則（平成12年4月1日）

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成13年4月1日）

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

第4条第2項教科に関する科目イ英語科科目の必修科目異文化コミュニケーション論Ⅰについては、平成12年度入学生より適用する。

附 則（平成14年4月1日）

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成16年4月1日）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成17年4月1日）

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（2010（平成22）年4月1日）

この規程は、2010（平成22）年4月1日から施行する。

第5条第2項教職に関する科目ニ①については、2007（平成19）年度入学生より適用する。

附 則（2011（平成23）年4月1日）

この規程は、2011（平成23）年4月1日から施行する。

附 則（2012（平成24）年4月1日）

この規程は、2012（平成24）年4月1日から施行する。

第5条第2項教職に関する科目ニ①については、在学生に適用する。

附 則（2014（平成26）年11月13日）

この規程は、2015（平成27）年4月1日から施行する。

附 則（2016（平成28）年2月3日）

この規程は、2016（平成28）年4月1日から施行する。

附 則（2016（平成28）年6月30日）

2016（平成28）年4月1日から施行したこの規程は、2016（平成28）年度入学生から適用し、2015（平成27）年度以前の入学生については、従前の規定がその効力を有する。

なお、2015（平成27）年度以前の入学生のうち、2013（平成25）年度以降の入学生については、第5条第2項教職に関する科目の第三欄教育の基礎理論に関する科目のうち教育史を、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想の選択科目とみなす。

附 則（2017（平成29）年2月17日）

この規程は、2017（平成29）年2月17日から施行し、2016（平成28）年4月1日から適用する。

附 則（2018（平成30）年2月26日）

この規程は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

附 則（2019（平成31）年1月25日）

この規程は、2019（平成31）年4月1日から施行する。

附 則（2020（令和2）年12月10日）

この規程は、2021（令和3）年4月1日から施行する。

附 則（2022（令和4）年1月12日）

この規程は、2022（令和4）年4月1日から施行する。

附 則（2022（令和4）年8月3日）

この規程は、2022（令和4）年8月3日から施行し、2022（令和4）年4月1日から適用する。

附 則（2022（令和4）年10月20日）

この規程は、2022（令和4）年10月20日から施行し、2022（令和4）年7月28日から適用する。

附 則（2023（令和5）年12月20日）

この規程は、2024（令和6）年4月1日から施行する。

附 則（2025（令和7）年1月15日）

この規程は、2025（令和7）年4月1日から施行する。

ただし、2024（令和6）年度以前の入学生については、なお従前の例によるが、第5条第1項第1号又地理歴史科科目の選択科目「歴史社会学」については、2024（令和6）年度入学生より適用する。